

2023年度

# 年次報告書

公益財団法人ヤマト福祉財団



# 1. 2023 年度事業報告書



# 2023年度事業報告書

(自・2023年4月1日～至・2024年3月31日)

## 1. 庶務事項

- (1) 財団設立年月日 1993年9月10日
- (2) 基本財産  
投資有価証券  
ヤマトホールディングス株式会社(株式)  
3,554,500株 6,031百万円
- (3) 役員等
- |                   |    |
|-------------------|----|
| ①理事長              | 1名 |
| ②理事               | 8名 |
| ③監事               | 2名 |
| ④評議員              | 9名 |
| ⑤福祉助成金選考委員        | 5名 |
| ⑥ヤマト福祉財団小倉昌男賞選考委員 | 5名 |
- (4) 賛助会員  
個人会員 70,641人
- (5) 事務局
- |       |    |
|-------|----|
| ①常務理事 | 1名 |
| ②事務局長 | 1名 |
| ③職員   | 5名 |

## 2. 事業報告

新型コロナウイルスによる社会的混乱は、2023年5月の5類感染症への移行に伴い一旦収束し、人々の生活はコロナ禍以前の状況を取り戻してきました。一方、世界的な物価上昇や円安の影響による原材料費の高騰、景気回復に伴う賃金上昇等は、福祉事業所の経営にも大きな影響をもたらしました。さらに2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震による被害は甚大で、インフラ復旧にも長期間を要し、障がい者を含む多くの方々が、今なお不自由な生活を余儀なくされています。

こうした中、財団事業としては、ご来賓をお招きしてのヤマト福祉財団小倉昌男賞贈呈式をコロナ禍以来4年ぶりに開催したほか、支援団体においても、自然栽培パーティ全国フォーラムのリアル開催や沖縄コンベンションセンターにおけるゆいジョブ!おしごと発見フェア2023の開催など、積極的な活動が行われました。また、令和6年能登半島地震に関連し、現地での支援活動を行う障がい者関連団体への寄付を通じ、復興・再生に向けた支援を行いました。

なお、ヤマト運輸(株)のクロネコDM便が2024年1月に終了したことに伴い、19年間に亘り継続してきた『障がい者のクロネコDM便配達事業』も終了となり、配達業務の継続を希望する事業所については日本郵便(株)との契約に移行しました。

**(公1)助成事業****①奨学金支給**

障がいを乗り越えて、社会の役に立ちたいと学ぶ大学生のために、月5万円（返済不要）の奨学金を支給しています。今年度は、2023年2月1日から3月31日までを応募書類請求期間、4月1日から5月1日を申請期間とし、55名の応募がありました。6月6日に開催の選考委員会では下記11名を新たに選考し、奨学生は41名となりました。

氏名	学年	在学大学	学部学科
木村 栄喜	4年	鹿児島大学	歯学部 歯学科
小林 紹子	2年	明治大学	理工学部 情報科学科
田島 和弥	2年	立命館アジア太平洋大学	国際経営学部 国際経営学科
福谷 帆香	2年	京都大学	工学部 情報学科
宮口 陽邑	2年	大阪公立大学	理学部 数学科
吉野 克利	2年	名古屋大学	医学部 医学科
伊藤 優希	1年	北九州市立大学	外国語学部 国際関係学科
黒木 雅也	1年	筑波技術大学	産業技術学部 産業情報学科
坂本 彩華	1年	東京外国語大学	言語文化学部 アラビア語学科
永井 慶吾	1年	慶應義塾大学	環境情報学部
原 昂大	1年	東京情報大学	総合情報学部 総合情報学科

**②助成金**

昨年に引き続き助成金事業として、①障がい者の給料増額を目的とする「障がい者給料増額支援助成金」（50万円から500万円の範囲）と、②ボランティア活動等を含め障がい者の幸せにつながる事業・活動を目的とする「障がい者福祉助成金」（上限100万円）の2つの部門を設定しました。今年度は、2022年10月1日から11月30日までを公募期間とし、251件の応募がありました。2023年3月22日に開催の選考委員会では、合計66件の助成対象施設・団体を決定。5月以降にヤマト運輸（株）の協力を得ながら各地で贈呈式を開催しました。

助成部門	応募	決定	決定金額
① 障がい者給料増額支援助成金	115件	39件	112,640千円
② 障がい者福祉助成金 (会議・講演会、ボランティア活動、 文化・スポーツ活動、調査・研究・出版)	136件	27件	20,200千円
合計	251件	66件	132,840千円

※助成先一覧 10～31ページ

## (公2) 研修・育成事業

### ① セミナー事業「障がい者の働く場パワーアップフォーラム」

本年度は、昨年同様、東京会場では、会場へのリアル参加とYouTubeによるオンライン同時配信によるハイブリッド開催を行ったほか、福井県と福岡県の2ヵ所からは、登壇者が参加者に代わって現地入りし見学レポートを行う「現地からお届けするオンラインフォーラム」を開催しました。

全3回で438名が参加し、受講者数はこれまでのセミナー受講者と合わせて13,621名となりました。

開催地	会場	開催日	参加人数
東京	東京都立産業貿易センター 浜松町館	9月1日	209人
福井	波松ステイ なみまちCAFE	9月12日	103人
福岡	(社福)ハイジ福祉会、 おりなす八女	9月20日	126人
合 計			438人
累 計			13,621人

### ② 雇用・促進事業

「障がい者のクロネコDM便配達事業」は、ヤマト運輸(株)がクロネコDM便の取り扱いを終了し、配達業務を日本郵便に移管したことから、2024年1月31日で終了しました。全国220施設で842名の障がい者がクロネコDM便の配達を行っていましたが、そのうち日本郵便での配達業務の継続を希望する施設については、日本郵便と業務委託契約を締結するなど配達業務を継続することになりました。

社会福祉法人ヤマト自立センターのスワン工舎新座・スワン工舎羽田では、今期11名(累計252名)が一般就労したほか、今期10名(累計100名)の就労定着支援を実施しました。また、2011年に立ち上げた就業・生活支援事業として、今期は48名の登録者に対し就業者は31名、実習者は23名の実績がありました。このほか、スワン工舎から企業に就職した卒業者が一堂に会する「第15回卒業者の集い」が4月22日に開催され、スワン工舎の卒業を祝福するとともに、職員からは卒業生に向けたエールが送られました。

### ③ 育成プロジェクト I. 実践塾

農福連携実践塾については熊田芳江氏(第14回ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞者)の統括により、林博文氏(第16回同賞受賞者)を塾長とする「ぶどう栽培塾」、農福連携実践塾の卒業生で社会福祉法人ゆずりは会 菜の花の小淵久徳氏を塾長とする「たまねぎ栽培塾」の2塾を開講し、それぞれ塾長施設の圃場にて栽培品目に特化した技術指導を行いました。

また、楠元洋子氏(第13回同賞受賞者)を塾長とする弁当・配食サービス塾の卒業生を対象に、茨城県のいいはたらくばトポスにてフォローアップ研修を開催しました。加えて、中崎ひとみ氏(第10回同賞受賞者)を座長とした販路拡大研究会は、障がい者施設でつくられた商品の販路拡大の検証・検討を行うため、3月2日、広島県内23ヵ所の障がい者就労支援施設が開発した商品を一堂に販売するマルシェ「ヒロシマルクト」を開催しました。

## Ⅱ. 「自然栽培パーティ」プロジェクト

水稲自然栽培検証プロジェクトより発展した「一般社団法人農福連携自然栽培パーティ全国協議会」は発足8年となり、12月25日に石川県金沢市で第8回自然栽培パーティ全国フォーラムを4年ぶりにリアルで開催しました。3月末現在136施設が会員登録しています。

## Ⅲ. ゆいジョブ!プロジェクト

ゆいジョブ!実行委員会は、2018年パワーアップフォーラム沖縄で結成したビジネスマッチング分科会を前身とする沖縄県内の福祉事業所職員を中心に活動する団体です。障がいのある方の一般企業への就労を目指し、県内の経済団体や教育機関等も交え、イベント開催やホームページの運営等幅広い活動を展開しています。

一昨年に盛況を呈した「おしごと発見フェア」については、本年度は「おしごと発見フェア2023」として沖縄コンベンションセンター展示棟にて規模を拡大して開催。合同企業説明会、就職準備相談会を実施したほか、おしごとチャレンジ体験会では、介護技術や動画編集作業など様々な業務を来場者が実体験しました。当日の来場者は400名を超え、地元企業担当者と直接の接点を持ち就労を具体的にイメージ出来るイベントとして徐々に定着して来ました。

このほか、次年度に向けてはホームページのリニューアルに着手し、障がいのある方々と企業担当者双方の利便性向上につなげます。

## (公3)表彰事業

障がい者の経済的な自立やノーマライゼーションに貢献した個人を表彰するため、第24回ヤマト福祉財団小倉昌男賞の贈呈事業を行いました。6月1日から8月31日まで公募を行い、10月24日の選考委員会で、飯田大輔氏(社会福祉法人福祉楽団理事長 千葉県千葉市)と加藤裕二氏(社会福祉法人オリーブの樹理事長 千葉県千葉市)に受賞が決定しました。

飯田大輔氏は、千葉県香取市を拠点に、家業の養豚という地場産業と障がい者雇用をつなげ、福祉を売りにしない正々堂々の勝負で豚肉のブランド化に成功し高工賃の実績を上げてきたこと、加藤裕二氏は、千葉県千葉市において、自宅の一室で無認可の小規模作業所をスタートして以来約40年にわたり地域の障がい者福祉の向上に貢献しただけでなく、幅広い福祉活動を通じて障がい者への理解を広めることに邁進してきたことが高く評価され受賞となりました。

贈呈式は12月7日、一般社団法人日本工業倶楽部にて、コロナ禍以来4年ぶりとなるご来賓をお招きしての開催となりました。式典終了後は祝賀会を開催し、お二人の受賞を祝福しました。

## (公4)広報・啓発等事業

### ①広報事業

財団ニュースを第78号から第81号まで年4回発行し、ヤマトグループ健康保険組合と連携の上、「ヤマトグループコラボ便」にて社員の自宅まで配布しました。このほか、一般購読希望者と福祉事業所あわせて約5,000部の無料配布を行いました。紙面データについてはホームページにも掲載し、幅広く広報を行っています。

### ②啓発事業

2023年6月に「ヤマト運輸(株)のクロネコDM便の取り扱いが2024年1月末で終了し、配達業務は日本郵便に移管する」というリリースがあったことから、障がい者本人によるクロネコDM便配達特別報告会の募集は行わず、実施を見送りました。

## ③その他

## I. 他団体等への活動支援

## イ) 全Aネットによる「良き就労継続支援A型事業所の拡大支援事業」

全国のA型事業所の経営の健全化をはかり、働く障がいのある人のディーセントワークの実現を一層進めるため、NPO法人就労継続支援A型事業所全国協議会(全Aネット)による優良A型事業所認定制度の審査・認定委員会開催に対して助成し、9事業所が認定されました。加えて、福祉のガバナンスや良き経営を理解してもらうことを目的に、3ヵ所で開催した就労支援セミナーについても助成しました。

## ロ) 日本障害フォーラムによる「障害者の権利条約」に関する事業

2022年10月、国連障害者権利条約に関する総括所見の確定版が公表されました。日本障害フォーラムは、この内容を広く周知・啓発するため、国内3ヵ所にて地域フォーラムを開催したほか、小冊子『障害者権利条約 総括所見のポイント解説』を出版しました。あわせて国内法制度のバージョンアップに向けての意見交換を超党派の議員連盟と推進するなど、総括所見を踏まえた障害者権利条約の実施促進と、インクルーシブな社会の実現のための事業に積極的に取り組みました。なお、ヤマト福祉財団は、(公財)助成財団センターを窓口として、約20年間にわたり日本障害フォーラムの助成を継続しています。

## II. 医療的ケア児者と家族を支える団体の活動支援

NPO法人医療的ケア児者と家族を社会につなぐネットワークは、医療的ケア児者の家族の就労に向けた資格取得支援を行うとともに、「子どもたちの居場所となり、親がそこで働ける施設」の立ち上げノウハウを伝える「楠元塾」を運営しました。また、社会的認知のための広報・啓発事業としてYouTubeにてPR動画を公開し、法人の取り組みや医療的ケア児者の社会的なサポートの重要性を伝えました。このほか、学生への啓発活動として、名古屋で福祉体験のマッチングサイトを運営している株式会社musbunと連携し、宮崎大学の学生と福祉をつなぐネットワークづくりを推進しました。

## III. ボランティアプロジェクト

ヤマトグループの社会貢献活動の一環としてヤマト運輸労働組合と連携し、グループ社員が地域の障がい者施設の利用者や職員と繋がり、交流を深めていくボランティア活動を推進しています。「農業編」については、一般社団法人農福連携自然栽培パーティ全国協議会の協力のもと、春と秋にそれぞれ2ヵ所で農作業のお手伝いを実施。「地域福祉活動編」については、ヤマト運輸労働組合青年部の協力のもと、「ヤマト繋がるプロジェクト」としてNPO法人アクションポータル横浜に所属する大学生と一緒に交流イベントを企画・運営しました。

## IV. その他

## イ) 農園型障害者雇用問題研究会

一般社団法人日本農福連携協会の主催により2023年2月に発足した「農園型障害者雇用問題研究会」では、農業分野で広がっている法定雇用率の充足を目的とした「障がい者雇用ビジネス」のメリット・デメリットを整理し、課題の抽出、問題解決に向けた検討を行うため、本年度は関係者や有識者による3回の研究会および1回の現地視察を実施し、研究成果について報告書にとりまとめました。2月29日にはWebシンポジウムを開催し、社会や企業に対し、良好で健全な障がい者の就労機会の提供に向けた啓発・提言を行いました。なお、本研究会の活動は、本年度で終了しました。

ロ) 応援団体協賛金等

国連での障害者権利条約の成立とその批准を契機に、日本の障がい者施策を社会モデル/人権モデルへと転換していくため、NPO法人日本障害者協議会は、財団の助成を受け6月に『障害と人権の総合事典』733冊を出版し、公立図書館(500館)や福祉系大学(176大学)等への寄贈を行いました。

**(公5)復興・再生支援事業**

2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震において、障がい者および障がい者福祉施設等に対して必要な支援を行うため、きょうされんに対し現地調査のための緊急支援として1百万円、日本障害フォーラムに対し現地支援センター開設運営等の資金として5百万円の助成を行いました。

**■ 賛助会員の状況**

当財団の母体であるヤマトホールディングス(株)とそのグループ会社で組織する賛助会員数は70,641人となっています。

(公1) 助成事業

## 2023年度中に実施した助成事業

## I. 障がいのある大学生への奨学金の支給

■ 41名

	大学名	学年	氏名
1	日本大学	4年生	鈴木 海人
2	帝京大学	4年生	大西 歩
3	日本社会事業大学	4年生	神谷 歩未
4	慶応義塾大学	4年生	横山 莉子
5	岐阜聖徳学園大学	4年生	串田 達哉
6	愛媛大学	4年生	佐藤 千優
7	琉球大学	4年生	大城 円香
8	中央大学	4年生	持田 温紀
9	群馬大学	3年生	栗田 鈴華
10	筑波技術大学	3年生	船山 滉介
11	筑波大学	4年生	渡辺 陽
12	花園大学	3年生	植松 健太
13	京都府立大学	3年生	若林 直央
14	川崎医療福祉大学	3年生	川角 祐太
15	安田女子大学	4年生	野林 千聖
16	長崎国際大学	3年生	立石 有梨佳
17	静岡県立大学	2年生	三枝 巧実
18	東京農業大学	2年生	森 柊也
19	日本大学	3年生	長縄 創也
20	日本社会事業大学	3年生	吉田 あさひ

	大学名	学年	氏名
21	富山大学	4年生	塚原 杏由理
22	立命館大学	2年生	五井 比奈子
23	日本大学	3年生	岩川 佳士乃
24	皇學館大学	3年生	中森 七海
25	三重大学	2年生	世古口 彩花
26	和光大学	2年生	北田 晴人
27	琉球大学	3年生	上原 直美
28	早稲田大学	2年生	向原 毅貴
29	筑波技術大学	2年生	一井 元希
30	宮城学院女子大学	2年生	佐藤 かえで
31	東京外国語大学	1年生	坂本 彩華
32	筑波技術大学	1年生	黒木 雅也
33	東京情報大学	1年生	原 昂大
34	慶應義塾大学	1年生	永井 慶吾
35	明治大学	2年生	小林 紹子
36	名古屋大学	2年生	吉野 克利
37	京都大学	2年生	福谷 帆香
38	大阪公立大学	2年生	宮口 陽邑
39	北九州市立大学	1年生	伊藤 優希
40	立命館アジア太平洋大学	2年生	田島 和弥
41	鹿児島大学	4年生	木村 栄喜

## Ⅱ. 2023年度ヤマト福祉財団助成金

( 障がい者給料増額支援助成金・障がい者福祉助成金 助成件数及び金額合計: 64件/1億3,034万円 )

### 1. 障がい者給料増額支援助成金 実施一覧 (38件/1億1,114万円)

単位(万円)

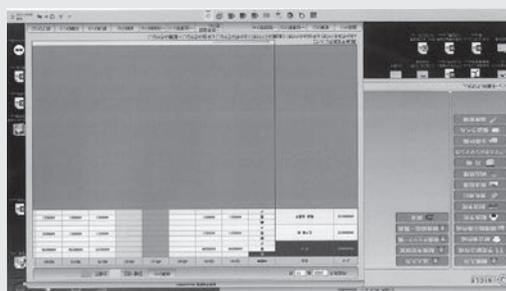
	所在地	福祉事業所・団体名	助成対象	実施金額
1	北海道旭川市	ねむのきワークセンター	給食基幹システム「ユニクルサープリング」導入	500
2	新潟県阿賀野市	あおぞらソラシード	電気式減圧蒸留器購入資金	445
3	広島県尾道市	多機能事業所COR	アスパラガス栽培のためのビニールハウスと制御システム機器の設置資金	500
4	愛媛県宇和島市	A・I HOPE	食品乾燥機、真空包装機等の購入資金	500
5	北海道札幌市中央区	共働事業所もじや	紙枚数計算機購入資金	144
6	北海道札幌市中央区	Charabanc at dispo.	移動販売車両の購入資金	300
7	北海道札幌市東区	ひかり工房	ブラストチラー&ショックフリーザー購入資金	257
8	茨城県つくば市	さくら学園	昇華転写プリンターの購入資金	120
9	群馬県藤岡市	藤岡ふれあいセンターほのか	コンプレッサー並びにコンプレッサー室設置資金	60
10	埼玉県さいたま市西区	あかしの森	食品印刷機の購入資金	297
11	千葉県八街市	明朗塾	枝豆機器の購入資金	230
12	神奈川県横浜市都筑区	はたらく支援工房ショコラボ	レボリングパン機械の購入資金	315
13	東京都渋谷区	就労継続支援A型ローランズプラスⅡ	花卉を保管するためのフラワーキーパー(冷蔵庫)および輸送用車両の購入資金	353
14	東京都国分寺市	ビーパス(多機能型)	ブラストチラー&ショックフリーザー機購入資金	245
15	福井県あわら市	ピアファーム	作業場の整備、資材ハウス倉庫の設置と農産物等運搬車購入資金	500
16	長野県長野市	信州そば工房きずな	包丁切り自動カッター購入資金	212
17	長野県千曲市	満天の星	車両購入資金	345
18	三重県伊賀市	ふっくりあもんマール	ドウコンディショナー・プラストチラー・パイローラー購入資金	450
19	三重県四日市市	清和ワークキャンパス	フォークリフト導入資金	125
20	滋賀県東近江市	葉菜屋	ドライフォグシステムの導入資金	340
21	滋賀県蒲生郡日野町	わたむきの里第4作業所	穀物用遠赤外線乾燥機購入資金	342
22	兵庫県尼崎市	チャレンジ・コヤリバ	高温高圧洗浄機を用いた除草作業受託の資金	328
23	奈良県御所市	御所園	製パン用ミキサー購入資金	412
24	島根県松江市	多機能型事業所ピー・ター・パン	パソコン制御で刺繍プリントが可能な機器の導入資金	270
25	岡山県真庭市	ワークスひるぜん	製粉機(白ふるい機)の導入資金	377
26	岡山県津山市	青空ワークス	さつまいも等農産物6次元化機材購入資金	190
27	広島県尾道市	障がい者サポートセンターあおぎり	アップサイクル商品の製造及び販売のための器機購入資金	330
28	広島県三原市	もりの輝舎	色彩選別機導入資金	357
29	広島県東広島市	宮領ワークセンター	急速冷凍庫及び高機能ミキサーの購入資金	287
30	広島県安芸高田市	ふれあいの家たんぼぼ	ペットフードを製造する機器購入資金	495
31	山口県山陽小野田市	多機能型事業所ジョブ・プレイス	乗用草刈り機と畦草刈り機の購入資金	130
32	徳島県板野郡松茂町	おりなす(なごみ)	クリーニング受注を増大するための大型洗濯機購入資金	100
33	愛媛県今治市	エコステーションはるかす	ムクナ豆の増産・商品化に必要な資材・機材の購入資金	132
34	愛媛県北宇和郡鬼北町	ほっとホット	食品加工事業収入拡大用ライス盛り付け機及び食品乾燥機購入資金	268
35	愛媛県新居浜市	多機能型事業所すいよう作業所	ハイブリットラジコン草刈り機購入資金	250
36	高知県南国市	きてみや	トラクター及び管理機購入資金	150
37	高知県安芸市	多機能型事業所TEAMあき	農機具購入資金	345
38	鹿児島県薩摩川内市	指定就労継続支援B型事業所すたーと	新規事業設備資金	113

助成先

1

ねむのきワークセンター（北海道旭川市） | 就労継続支援B型 |

助成対象事業の内容および助成額



■給食基幹システム「ユニクルサープリング」導入 ■助成金：5,000,000円

### 給食事業者向け基幹システム導入で販売拡大

ねむのきワークセンターは2004年に事業を開始し、清掃や内職作業を中心に運営してきました。2012年に法人内の給食製造のためにセントラルキッチン事業を開始。安全性を担保するために「クックチルド方式」を採用して、各施設では食べる直前に温めるだけでできたの味を再現できます。この商品やサービスが口コミで広がり、法人外の障がい者施設への販売も行い事業収入は毎年4%増を達成。しかし販売先が増えると同時に、個別の対応も増え作業の準備や事務作業に時間を要して、現状のままでは製造数を増やすのが難しい状況です。

助成金で、給食業に特化した、発注から請求まで一つのシステムで網羅でき、帳票類などを自動で作成できる「ユニクルサープリング」（給食事業者向け基幹システム）を導入。事務作業、栄養士業務、セントラルキッチン作業時間を軽減。工場の生産能力を上げることで販売拡大に繋がります。システム導入後には新規給食提供先も3件増え、給食以外にオリジナルの「豚まん」を商品化し、販売を行っています。売上は3年で8.74%増、工賃は3年で25%増を実現します。

助成先

2

あおぞらソラシード（新潟県阿賀野市） | 就労継続支援B型 |

助成対象事業の内容および助成額



■電気式減圧蒸留器  
購入資金  
■助成金：4,450,000円

### 新蒸留器で品質を高め新商品の開発と売上増を目指す

あおぞらソラシードでは、2012年からオーガニック化粧品の製造販売や地元間伐材を活用した着火剤製造を行っています。化粧品事業では、自家栽培のハーブなどを水蒸気蒸留し、精油を抽出。それを原料にミストやバームなどの商品化を進めています。現在使用している蒸留器では、蒸留水や精油の収量に限界があり、扱える植物も限られているため、OEMの問い合わせに答えられていません。

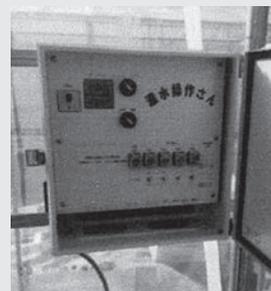
助成金で減圧水蒸気蒸留器を導入することにより、自然農法で栽培する自社農園のハーブをさらに高品質な蒸留を行い、多くの問い合わせのあるOEMに答えられるようになると計画しました。

導入後には、早速新商品として香水・シャンプー・リンス・ボディソープ等の開発に取り組み、OEM原材料製造では品質を大きく向上させるため、5~10%の卸価格アップを見込んでいます。2023年度は売上昨年度比約9%増。5年後には念願の工賃5万円達成する計画です。

助成先

3

多機能事業所 COR (広島県尾道市) | 就労継続支援B型 |



■アスパラガス栽培のためのビニールハウスと制御システム機器の設置資金 ■助成金：5,000,000円

#### AIによるスマート農業で安定した工賃収入を目指す

多機能事業所CORは部品加工、洗い場作業など請負作業を仕事の中心としてきました。請負に依存した体制を脱却し、工賃アップを図るため農業に参入。2020年から近隣の耕作放棄地を借り受け、草や藪を伐採して農地の復活を図り、地域農家の協力を得て耕作を開始しました。初年度は、たまねぎを2,500株栽培。たまねぎ栽培を足がかりとして、2021年度からアスパラ栽培に着手しました。広島県農業技術センターの「アスパラ800プロジェクト」に参画し、ビニールハウスで環境制御システムを導入したアスパラ栽培を行っています。

2023年に現状の4倍に規模を拡大。助成金により、灌水指令システムなどAIによるスマート農業を導入。栽培の失敗リスクを抑え作業者の負担を軽減、建設用の足場資材を使った強固なハウスを建設しました。2024年の収穫を目指し、2023年から土作り、水源確保の井戸の採掘、給水配管工事等も完了。6月中に760株の苗を定植し、2024年1月に1年目の刈り取り作業を実施することができました。露地栽培より8倍の収穫が見込めるスマート農業で、安定した収入と工賃アップを図ります。

助成対象事業の内容および助成額

助成先

4

A・I HOPE (愛媛県宇和島市) | 就労継続支援A型 |



■食品乾燥機、真空包装機等の購入資金

■助成金：5,000,000円

#### 店頭販売・外販営業拡充に向けて

宇和島市は急激な高齢化、若年層の流出で地域産業の衰退が懸念され、2018年の豪雨により柑橘をはじめとした基幹産業は未だ復興の途上にあります。A・I HOPEは宇和島市で高齢者介護施設を運営する(社福)正和会の障がい者支援事業として2013年に開設されました。法人が運営する病院内のショップ販売、介護老人保健施設内の清掃洗濯業務の受託、農作物の栽培等を行っています。新たな就労事業として、宇和島の豊かな農・水産資源を活用した食品加工事業を計画しました。

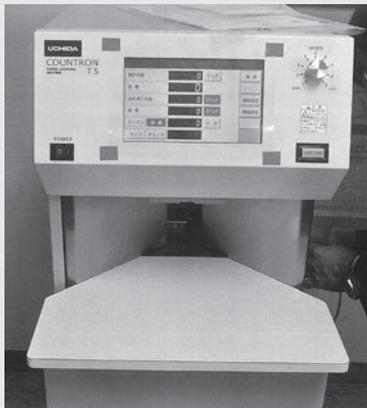
法人グループでは、廃校になった九島小学校の音楽室をそのまま利用したレストランを運営しています。レストランの隣にある家庭科室を利用して「干物製造工房」を新設する計画を立てました。助成金により、食品乾燥機、真空包装機、急速冷凍機など厨房機器を設置。地元でとれた海産物や農産物を乾燥後瞬間冷凍パックし、ネットや道の駅、干物自販機での販売、ふるさと納税の返礼品を想定しています。地元の雇用創出、地域ブランドの開発など地域が元気になることで、利用者さんの給料増額を目指します。

助成対象事業の内容および助成額

助成先

## 5 共働事業所もじや（北海道札幌市中央区）

助成対象事業の内容および助成額



■紙枚数計測機購入資金  
■助成金：1,440,000円

助成先

## 6 Charabanc at dispo.（北海道札幌市中央区）

助成対象事業の内容および助成額



■移動販売車両の購入資金 ■助成金：3,000,000円

助成先

## 7 ひかり工房（北海道札幌市東区）

助成対象事業の内容および助成額



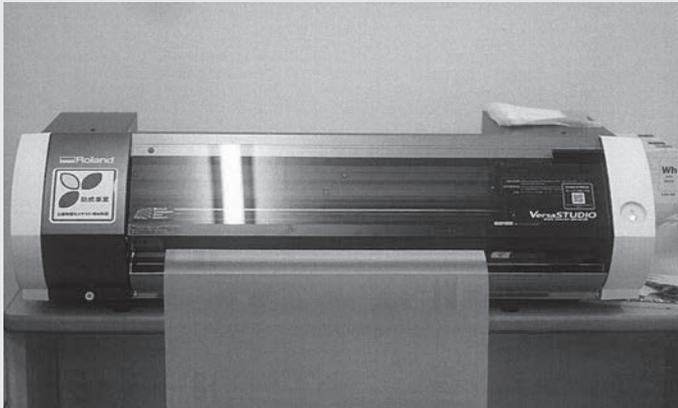
■ブラストチラー&ショック  
フリーザー購入資金  
■助成金：2,570,000円

助成先

8

さくら学園（茨城県つくば市）

助成対象事業の内容および助成額



- 昇華転写プリンターの購入資金
- 助成金：1,200,000円

助成先

9

藤岡ふれあいセンターほのか（群馬県藤岡市）

助成対象事業の内容および助成額



- コンプレッサー並びに  
コンプレッサー室設置資金
- 助成金：600,000円

助成先

10

あかしあの森（埼玉県さいたま市西区）

助成対象事業の内容および助成額



- 食品印刷機の購入資金
- 助成金：2,970,000円

助成先

## 11 明朗塾 (千葉県八街市)

助成対象事業の内容および助成額

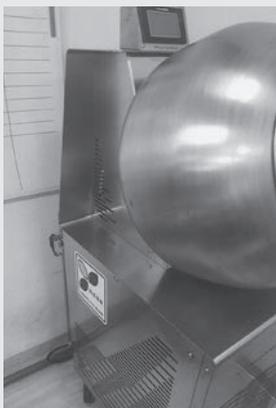


■枝豆機器の購入資金 ■助成金: 2,300,000円

助成先

## 12 はたらく支援工房ショコラボ (神奈川県横浜市都筑区)

助成対象事業の内容および助成額



■レボリングパン機械の購入資金  
■助成金: 3,150,000円

助成先

## 13 就労継続支援A型ローランズプラスII (東京都渋谷区)

助成対象事業の内容および助成額



■花卉を保管するための  
フラワーキーパー  
(冷蔵庫) および輸送用  
車両の購入資金  
■助成金: 3,530,000円

助成先

## 14 ビーパス(多機能型) (東京都国分寺市)

助成対象事業の内容および助成額

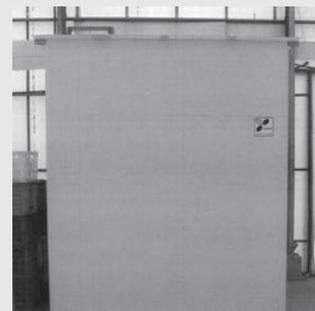


- プラスチック&ショックフリーザー機購入資金
- 助成金: 2,450,000円

助成先

## 15 ピアファーム (福井県あわら市)

助成対象事業の内容および助成額

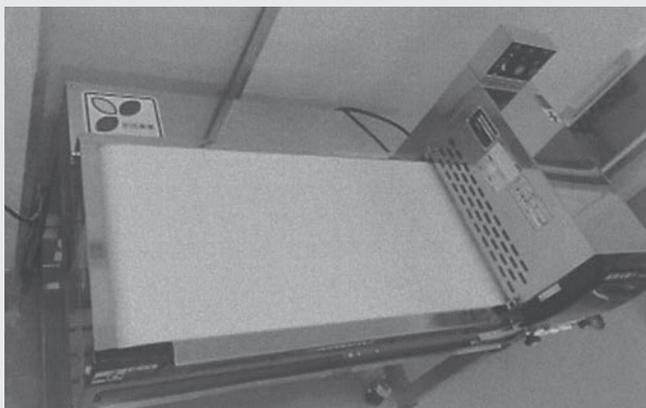


- 作業場の整備、資材ハウス倉庫の設置と農産物等運搬車購入資金
- 助成金: 5,000,000円

助成先

## 16 信州そば工房きずな (長野県長野市)

助成対象事業の内容および助成額



- 包丁切り自動カッター購入資金
- 助成金: 2,120,000円

助成先

**17** 満天の星 (長野県千曲市)

助成対象事業の内容および助成額

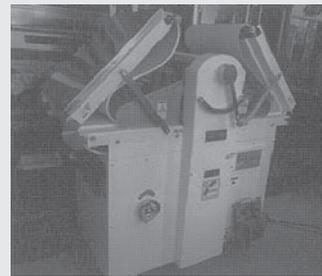


■車両購入資金  
■助成金: 3,450,000円

助成先

**18** ふっくりあモオンマール (三重県伊賀市)

助成対象事業の内容および助成額



■ドウコンディショナー・プラストチラー・  
パイローラー購入資金  
■助成金: 4,500,000円

助成先

**19** 清和ワークキャンパス (三重県四日市市)

助成対象事業の内容および助成額



■フォークリフト導入資金  
■助成金: 1,250,000円

助成先

## 20 葉菜屋（滋賀県東近江市）

助成対象事業の内容および助成額



■ドライフォグシステムの導入資金  
■助成金：3,400,000円

助成先

## 21 わたむきの里第4作業所（滋賀県蒲生郡日野町）

助成対象事業の内容および助成額



■穀物用遠赤外線乾燥機購入資金  
■助成金：3,420,000円

助成先

## 22 チャレンジ・コヤリバ（兵庫県尼崎市）

助成対象事業の内容および助成額



■高温高圧清浄機を用いた除草作業受託の資金  
■助成金：3,280,000円

助成先

**23** 御所園 (奈良県御所市)

助成対象事業の内容および助成額

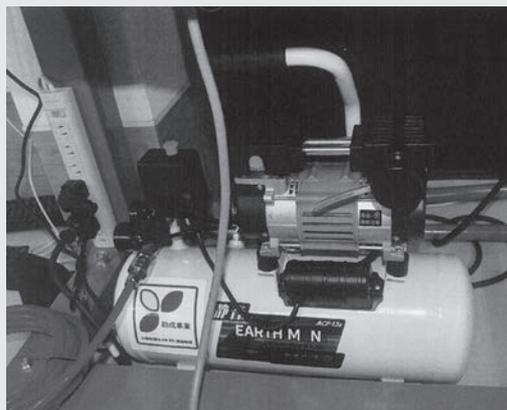
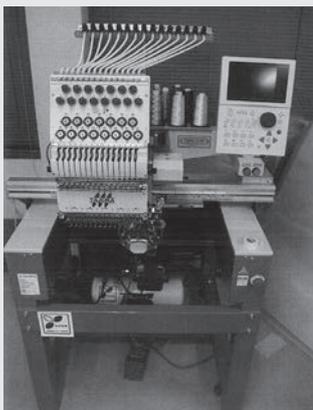


■製パン用ミキサー購入資金  
■助成金: 4,120,000円

助成先

**24** 多機能型事業所ピー・ター・パン (鳥根県松江市)

助成対象事業の内容および助成額

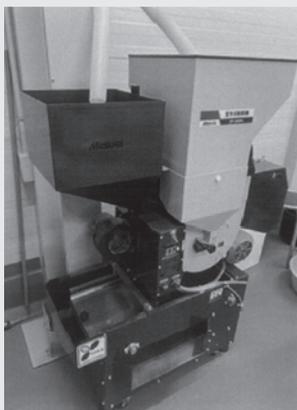
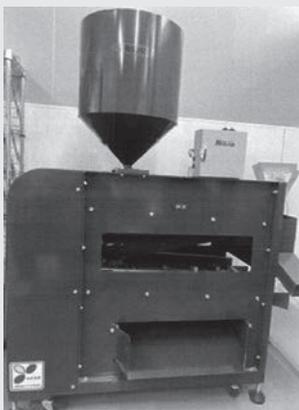


■パソコン制御で  
刺繍プリントが可能な  
機器の導入資金  
■助成金: 2,700,000円

助成先

**25** ワークスひるぜん (岡山県真庭市)

助成対象事業の内容および助成額



■製粉機 (白ふるい機) の導入資金  
■助成金: 3,770,000円

助成先

## 26 青空ワークス（岡山県津山市）

助成対象事業の内容および助成額



■さつまいも等農産物6次元化機材購入資金 ■助成金：1,900,000円

助成先

## 27 障がい者サポートセンターあおぎり（広島県尾道市）

助成対象事業の内容および助成額

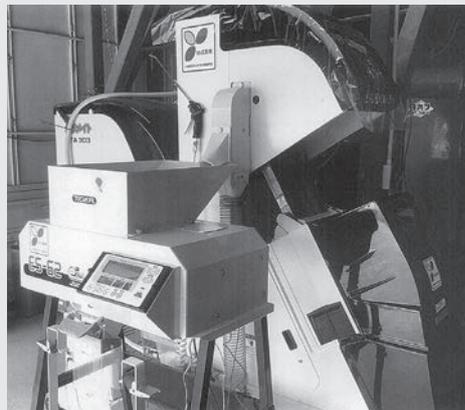
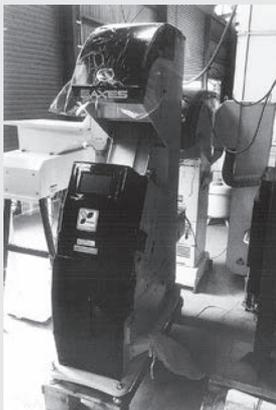


■アップサイクル商品の製造及び販売のための器機購入資金  
■助成金：3,300,000円

助成先

## 28 もりの輝舎（広島県三原市）

助成対象事業の内容および助成額



■色彩選別機導入資金  
■助成金：3,570,000円

助成先

29

宮領ワークセンター (広島県東広島市)

助成対象事業の内容および助成額



■急速冷凍庫及び高機能ミキサーの購入資金  
■助成金: 2,870,000円

助成先

30

ふれあいの家たんぽぽ (広島県安芸高田市)

助成対象事業の内容および助成額



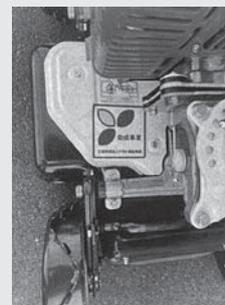
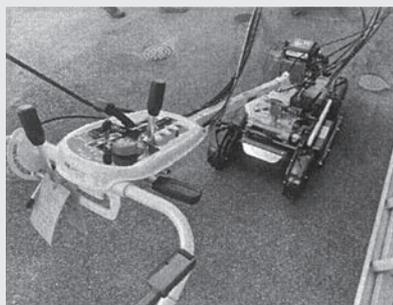
■ペットフードを製造する機器購入資金 ■助成金: 4,950,000円

助成先

31

多機能型事業所ジョブ・プレイス (山口県山陽小野田市)

助成対象事業の内容および助成額



■乗用草刈り機と畦草刈り機の購入資金  
■助成金: 1,300,000円

助成先

32

おりなす(なごみ) (徳島県板野郡松茂町)

助成対象事業の内容および助成額



■クリーニング受注を増大するための大型洗濯機購入資金  
■助成金:1,000,000円

助成先

33

エコステーションはるかす (愛媛県今治市)

助成対象事業の内容および助成額



■ムクナ豆の増産・商品化に必要な資材・  
機材の購入資金  
■助成金:1,320,000円

助成先

34

ほっとホット (愛媛県北宇和郡鬼北町)

助成対象事業の内容および助成額



■食品加工事業収入拡大用ライス  
盛り付け機及び食品乾燥機購入資金  
■助成金:2,680,000円

助成先

35

多機能型事業所  
すいよう作業所

愛媛県新居浜市



■ハイブリットラジコン草刈り機購入資金  
■助成金：2,500,000円

助成対象事業の内容および助成額

助成先

36

きてみや

高知県南国市



■トラクター及び管理機購入資金  
■助成金：1,500,000円

助成対象事業の内容および助成額

助成先

37

多機能型事業所  
TEAMあき

高知県安芸市



■農機具購入資金  
■助成金：3,450,000円



助成対象事業の内容および助成額

助成先

38

指定就労継続支援B型事業所  
すたーと

鹿児島県薩摩川内市



■新規事業設備資金  
■助成金：  
1,130,000円

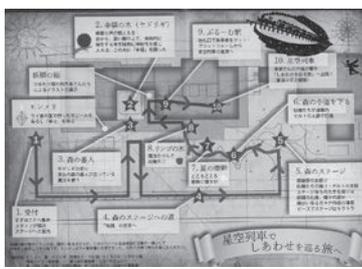


助成対象事業の内容および助成額

## 2. 障がい者福祉助成金 実施一覧 (26件/1,920万円)

単位(万円)

	所在地	福祉事業所・団体名	助成対象	申請区分	実施金額
1	宮城県石巻市	チャイルドネットジャパン	コロナ禍からの復活!東北作業所応援市	ボランティア活動	100
2	宮城県気仙沼市	Beach Sports Project	ビーチスポーツで「つくる・つなぐ」共生社会	スポーツ活動	81
3	茨城県つくば市	ユースMDCプロジェクト	発達障害のある若者支援事業	文化活動	100
4	千葉県柏市	DEI実行委員会	「しあわせの森の物語」～森を舞台に繰り上げられるファンタジーパフォーマンス～(仮)	文化活動	100
5	神奈川県横浜市 神奈川区	NPO法人中途障害者 地域活動センターリワーク神奈川	脳卒中・脳外傷の方へ自宅に戻ってからのガイドブック	出版	100
6	神奈川県平塚市	一般社団法人ALTAM	いま、気になるあのアートたち(仮)Ⅰ 「いま、気になる」あの人の表現Ⅱ	文化活動	98
7	東京都目黒区	埼玉県若い失語症者のつどい	第91～94回若い&第59～62回ミドル失語症者のつどい	会議	10
8	東京都江戸川区	就労継続支援A型事業所 東京ソテリアエンプロイメント	見えない優しい傘出版事業	出版	100
9	東京都杉並区	SuginamiShowFestival実行委員会	SuginamiShowFestival2024	文化活動	10
10	東京都新宿区	社会福祉法人桜雲会	同行援護制度を周知する為に小冊子 作成配布事業	出版	100
11	東京都練馬区	子どものための音楽療法サークル 「音の輪」	子どものための音楽療法サークル「音の輪」 発足15+1周年記念行事「音の輪」音楽フェスティバル	文化活動	60
12	東京都世田谷区	TherapyPerformanceCircle	(定期)演奏会	ボランティア活動	44
13	東京都世田谷区	社会福祉法人藍	ユニバーサルディスコ ～障がいのある方もない方も、分け隔てなく輝く時間を～	文化活動	99
14	東京都世田谷区	調布市つばみの会	口唇口蓋裂に関する講演会の開催	講演会	25
15	岐阜県養老郡養老町	大垣養老高校動物科学科木曾馬班	地域に必要とされる障がい者乗馬を目指して	スポーツ活動	88
16	愛知県知多郡南知多町	字幕耳サポみいな	字幕支援活動用機器充実化及び活動範囲拡大	ボランティア活動	49
17	三重県伊勢市	みんなの公園づくり隊ise	インクルーシブ公園をつくろう& インクルーシブ伊勢を目指そう!	ボランティア活動	37
18	京都府京都市中京区	なないろ会	障がいやDV被害などの生きづらさを抱えた女性が 主体となり孤立を予防し自立力を高めるための活動	文化活動	80
19	大阪府泉南郡熊取町	視覚障がい者の豊かな暮らしを 実現する研究会(ゆたくら)	視覚障がい者の暮らしを豊かにする日常生活用具開発の ための実践研究	研究	79
20	兵庫県赤穂市	赤穂精華園	字が読めない利用者も楽しめる衛生面に配慮した 「食育かるた」の作成と普及	文化活動	100
21	鳥取県鳥取市	わんだふる(就労継続支援B型)	障がい者と地域の方のeスポーツを活用した交流会活動 ～ねんりんピック出場を目指して～	スポーツ活動	92
22	広島県広島市中区	特定非営利活動法人咲良の会	都市部ニュータウンの要支援者・要介護者等を対象とした 防災・避難物資等調査	調査	70
23	福岡県福岡市東区	キコエナイ×キコエル発展事業委員会	キコエナイ×キコエル発展事業	文化活動	100
24	福岡県福岡市中央区	NPO法人ももち浜 ユニバーサルビーチプロジェクト	ももち浜ユニバーサルビーチプロジェクト2023	スポーツ活動	100
25	長崎県長崎市	NPO法人ほほえみながさき	通院送迎ボランティア運転講習会の充実	講演会	17
26	鹿児島県始良市	ゆめのわ	発達障がい児を支える街づくりを学ぶ会	会議	81

助成先	助成対象事業の内容および助成額	
<p>1</p> <p>ボランティア活動</p> <p>チャイルドネット ジャパン</p> <p>宮城県石巻市</p>		 <p>■コロナ禍からの復活! 東北作業所応援市 ■助成金: 1,000,000円</p>
<p>2</p> <p>スポーツ活動</p> <p>Beach Sports Project</p> <p>宮城県気仙沼市</p>		  <p>■ビーチスポーツで 「つくる・つなぐ」 共生社会 ■助成金: 810,000円</p>
<p>3</p> <p>文化活動</p> <p>ユースMDC プロジェクト</p> <p>茨城県つくば市</p>		 <p>■発達障害のある若者 支援事業 ■助成金: 1,000,000円</p>
<p>4</p> <p>文化活動</p> <p>DEI実行委員会</p> <p>千葉県柏市</p>		 <p>■「あわせの森の物語」～森を舞台に繰り 広げられるファンタジーパフォーマンス～(仮) ■助成金: 1,000,000円</p>

助成先

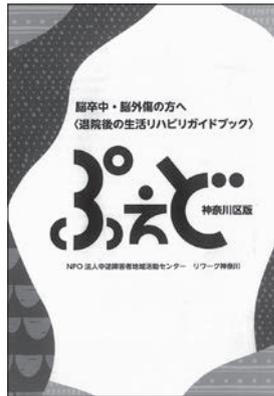
助成対象事業の内容および助成額

5

出版

NPO法人中途障害者  
地域活動センター  
リワーク神奈川

神奈川県  
横浜市神奈川区



■脳卒中・脳外傷の方へ自宅に戻ってからのガイドブック  
■助成金：1,000,000円

6

文化活動

一般社団法人  
ALTAM

神奈川県平塚市



■いま、気になるあのアートたち(仮) I / 「いま、気になる」あの人の表現 II  
■助成金：980,000円

7

会議

埼玉県若い失語症者のつどい

東京都目黒区



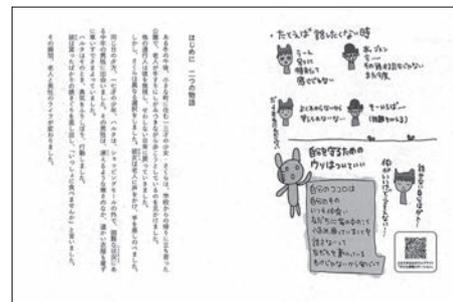
■第91～94回若い&第59～62回ミドル失語症者のつどい者支援事業  
■助成金：100,000円

8

出版

就労継続支援A型事業所  
東京ソテリア  
エンプロイメント

東京都江戸川区



■見えない優しい傘出版事業  
■助成金：1,000,000円

助成先

助成対象事業の内容および助成額

文化活動

9

Suginami Show Festival  
実行委員会

東京都杉並区



■ Suginami Show Festival 2024  
■ 助成金: 100,000円

出版

10

社会福祉法人  
桜雲会

東京都新宿区



■ 同行援護制度を周知する  
為に小冊子作成配布事業  
■ 助成金: 1,000,000円

文化活動

11

子どものための  
音楽療法サークル  
「音の輪」

東京都練馬区



■ 子どものための音楽療法サークル「音の輪」発足  
15+1周年記念行事「音の輪」音楽フェスティバル  
■ 助成金: 600,000円

ボランティア活動

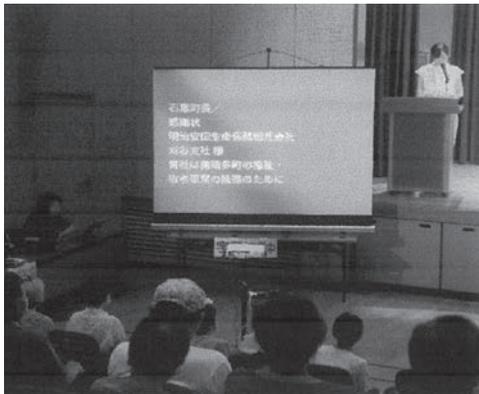
12

Therapy  
Performance  
Circle

東京都世田谷区



■ (定期) 演奏会  
■ 助成金: 440,000円

助成先	助成対象事業の内容および助成額
<p>13</p> <p>文化活動</p> <p>社会福祉法人藍 東京都世田谷区</p>	  <p>■ユニバーサルディスコ～障がいのある方もない方も、分け隔てなく輝く時間を～ ■助成金：990,000円</p>
<p>14</p> <p>講演会</p> <p>調布市つぼみの会 東京都世田谷区</p>	  <p>■口唇口蓋裂に関する講演会の開催 ■助成金：250,000円</p>
<p>15</p> <p>スポーツ活動</p> <p>大垣養老高校 動物科学科木曾馬班 岐阜県養老郡養老町</p>	  <p>■地域に必要とされる障がい者 乗馬を目指して ■助成金：880,000円</p>
<p>16</p> <p>ボランティア活動</p> <p>字幕耳サポみいな 愛知県 知多郡南知多町</p>	  <p>■字幕支援活動用機器 充実化及び活動範囲拡大 ■助成金：490,000円</p>

助成先

助成対象事業の内容および助成額

ボランティア活動

17

みんなの公園づくり隊  
ise  
三重県伊勢市



■インクルーシブ公園をつくろう&インクルーシブ伊勢を目指そう!  
■助成金: 370,000円

文化活動

18

なないろ会  
京都府京都市中京区

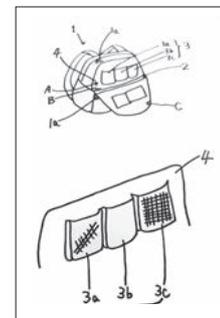


■障がいやDV被害などの生きづらさを抱えた女性が主体となり孤立を予防し自立力を高めるための活動  
■助成金: 800,000円

研究

19

視覚障がい者の豊かな暮らしを実現する研究会 (ゆたくら)  
大阪府泉南郡熊取町

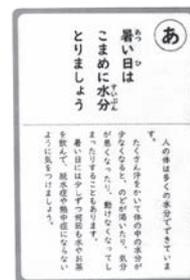


■視覚障がい者の暮らしを豊かにする日常生活用具開発のための実践研究  
■助成金: 790,000円

文化活動

20

赤穂精華園  
兵庫県赤穂市



■「字が読めない利用者も楽しめる衛生面に配慮した「食育かるた」の作成と普及  
■助成金: 1,000,000円

助成先

助成対象事業の内容および助成額

スポーツ活動

わんだふる  
(就労継続支援B型)

鳥取県鳥取市

21



■障がい者と地域の方のeスポーツを活用した  
交流会活動～ねんりんピック出場を目指して～  
■助成金：920,000円

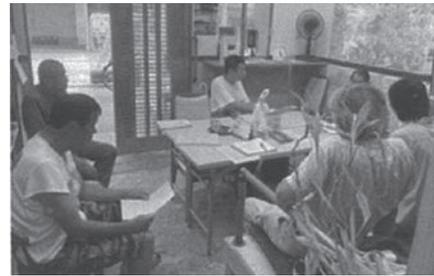


調査

特定非営利活動法人  
咲良の会

広島県広島市中区

22



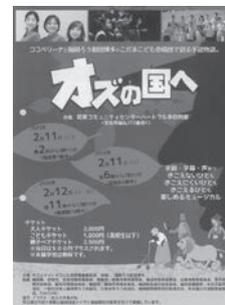
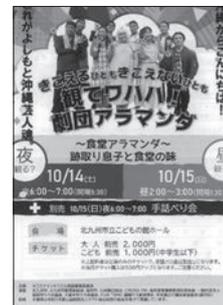
■都市部ニュータウンの要支援者・要介護者等を  
対象とした防災・避難物資等調査  
■助成金：700,000円

文化活動

キコエナイ×キコエル  
発展事業委員会

福岡県福岡市東区

23



■キコエナイ×キコエル発展事業  
■助成金：1,000,000円

スポーツ活動

NPO法人ももち浜  
ユニバーサルビーチ  
プロジェクト

福岡県福岡市中央区

24



■ももち浜ユニバーサルビーチプロジェクト2023  
■助成金：1,000,000円

助成先

助成対象事業の内容および助成額

25

講演会

NPO法人  
ほほえみがさき  
長崎県長崎市



■通院送迎ボランティア運転講習会の充実  
■助成金：170,000円

26

会議

ゆめのわ  
鹿児島県始良市



■発達障がい児を支える街づくりを学ぶ会  
■助成金：810,000円

## (公2) 研修・育成事業

# 2023年度 障がい者の働く場 パワーアップフォーラム実施報告

## I. 実施報告

コロナ禍での規制が緩和されてきたとは言え、来場される方への健康配慮を鑑み、2023年度のパワーアップフォーラムは、前年度同様に東京会場をリアル会場とYouTube配信のハイブリッドで、福井会場と福岡会場は現地からのオンライン配信で開催しました。

テーマは「人は自立して生活することで幸せを感じられる」。サブテーマは「『インクルーシブに働きたい』を実現しよう」です。この二つをより掘り下げていくために会場ごとのテーマも設定し、各種講演や実践報告、シンポジウムを展開しました。

## II. プログラム内容

リアル会場&  
YouTube同時配信 **東京会場**

日 時：2023年9月1日(金)

会 場：東京都立産業貿易センター浜松町館

### | 2023年度テーマ | 「インクルーシブに働きたい」を実現しよう

10:00	主催者挨拶	
10:05	本日のプログラムのご案内	
10:10	基調講演	障害者権利条約とソーシャルインクルージョン ～総括所見を学び・伝え・生かす～ NPO法人日本障害者協議会 / 代表 藤井克徳
11:00	特別講演	「共に働く」就労支援の意味を問い、共に考える ～ソーシャルファームの取り組み経過から～ 東京家政大学 名誉教授/社会福祉法人豊芯会 顧問 上野容子
11:50	助成金の紹介	
11:55	休憩(65分)	
13:00	小倉昌男賞 受賞者講演	「なぜ高工賃を目指してきたのか」 ～その先に見えてきたこと～ 社会福祉法人パレット・ミル 常務理事 中山みち代
13:40	実践報告①	仲間と共に創出するインクルーシブな社会 NPO法人カムイ大雪 バリアフリー研究所 チーム紅蓮 施設長 五十嵐真幸
14:10	実践報告②	尽きないチャレンジ・これからの夢 ～奄美大島での農福連携～ 株式会社リーフエッジ あまみん 代表取締役 田中基次
14:40	休憩(20分)	
15:00	シンポジウム	テーマ：「インクルーシブに働きたい」を実現しよう シンポジスト / 上野容子 中山みち代 五十嵐真幸 田中基次 コーディネータ / 藤井克徳
16:00	終了	

現地からお届けする  
オンラインフォーラム

## 福井会場

日 時：2023年9月12日(火)

会 場：波松ステイ・なみまちCAFE

### メンバーと共に立ち上げた農福連携実践で工賃向上を目指す

13:00	主催者挨拶	
13:05	本日のプログラムのご案内	
13:10	ホスト講演 ビデオ事業所紹介	農業で工賃向上! NPO法人ピアファーム 理事長 林 博文
13:50	講 演	国連・総括所見と障害のある人の就労分野 NPO法人日本障害者協議会 代表 藤井克徳
14:20	ゲスト報告①	農福連携による高工賃の実現 社会福祉法人ゆずりは会 菜の花 管理者 小淵久徳
14:40	ゲスト報告②	私たちが目指す農福連携 一般社団法人空 代表 熊田芳江
15:00	休憩(10分)	
15:10	シンポジウム	テーマ：「インクルーシブに働きたい」を実現しよう ゲストから、NPO法人ピアファームを見学レポート シンポジスト / 林 博文 熊田芳江 小淵久徳 コーディネータ / 藤井克徳
16:00	終 了	

現地からお届けする  
オンラインフォーラム

## 福岡会場

日 時：2023年9月20日(水)

会 場：八女市民会館 おりなす八女

### 地域産業の活性化を図り、地域とともに暮らしていく

13:00	主催者挨拶	
13:05	本日のプログラムのご案内	
13:10	ホスト講演 ビデオ事業所紹介	利用者も職員も幸せになる取り組み・ハイジ福祉会の農福連携 社会福祉法人ハイジ福祉会 理事長 山口由紀子 施設長 山口隆充
13:50	講 演	ディーセントワークと現場をどう結びつけるか NPO法人日本障害者協議会 代表 藤井克徳
14:20	ゲスト報告①	誰もが対等に地域で働き、地域で生きる活動を目指して 社会福祉法人くまもと 障害者労働センター 理事・事務長 野尻健司
14:40	ゲスト報告②	小さい施設でもステップアップできること 一般社団法人あんずの森 代表 泉 栄
15:00	休憩(10分)	
15:10	シンポジウム	テーマ：「インクルーシブに働きたい」を実現しよう ゲストから、社会福祉法人ハイジの事業所を見学レポート シンポジスト / 山口由紀子 山口隆充 野尻健司 泉 栄 コーディネータ / 藤井克徳
16:00	終 了	

## リアル会場&amp;YouTube同時配信 東京会場

- 日 時：2023年9月1日
- 会 場：東京都立産業貿易センター浜松町館

## 「インクルーシブに働きたい」を実現しよう

9月1日の東京会場では、リアル会場に約60名が来場し、YouTube配信は100名を超える方々が視聴されました。

基調講演は、(NPO) 日本障害者協議会代表の藤井克典さんです。日本政府の障害者権利条約への取り組みに対する国連からの通信簿（総括所見）について「これは日本社会へのイエローカード」と解説。インクルーシブに働きたいと願う利用者さんの声に応えていくには、国や行政に頼るだけでなく現場職員の意識改革と行動が必要だと説いています。

続いて東京家政大学の名誉教授で(社福) 豊心会顧問の上野容子さんより「『共に働く』就労支援の意味を問い、共に考える」をテーマに、ご自身が進められているソーシャルファームの取り組みについて特別講演を行っていただきました。

小倉昌男賞受賞者講演は、(社福) パレット・ミルの常務理事中山みち代さんです。「なぜ高工賃を目指してきたのか ～その先に見えてきたこと～」と題し、コロナ禍で仕事が激減するなか、地域の方たちや企業の協力を得て頑張っている実情を説明。そこで改めて感じた月額平均給料7万円を維持する大切さと、利用者さんが働く意義について語りました。

実践報告には、北海道と鹿児島島の二つの事業所が登場。北海道旭川市の(NPO) カムイ大雪バリアフリー研究所チーム紅蓮の施設長五十嵐真幸さんは「私たちの視点でだれにも優しい町づくりや故郷・旭川の観光イベントなどを企画。地域に必要とされるさまざまな仕事を自ら創出しています」と報告しました。鹿児島島の奄美大島から参加された(株) リーフエッジ あまみんの代表取締役田中基次さんは「コロナ禍で観光客が激減した時期もありましたが、今はお取り寄せブームなどで巻き返しています。農福連携をもう一步進め、島内循環型農業や農泊事業にもチャレンジしたい」と今後の抱負を伝えてくれました。



## 現地からお届けするオンラインフォーラム 福井会場

- 日 時：2023年9月12日
- 会 場：波松ステイ・なみまちCAFE

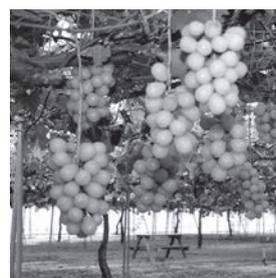
### メンバーと共に立ち上げた 農福連携実践で工賃向上を目指す

配信会場は、休校になった小学校を改造したカフェ。その近くにあるぶどう栽培塾林塾長の（NPO）ピアファームの観光果樹園から現地レポートでフォーラムはスタートしました。

林さんはホスト講演で「福祉施設に果樹栽培は難しいと言われたが、インクルーシブな世界を実現するため、私は農業法人の認定を取り、本物の農業者として周りに認めていただける品質と収益を上げてきました」と説明。林さんは、天候・気温などの変化が作物にどう影響しているかを毎日記録してきました。「これをもとに改善点を見直し、毎年、新たな栽培計画を立てています。このように中期・長期の計画をしっかりと立てることが大切です」と講演しました。

ゲスト実践報告では、たまねぎ栽培塾の塾長で（社福）ゆずりは会菜の花の管理者小淵久徳さんが、各種作物の栽培状況と収益などを報告。「約8年前、私は熊田塾で学ぶ塾生の一人でした。とにかくまず実践したのはPDCAを回すこと。そこで、気づいたのが年間栽培計画の重要性だったのです」と話しています。

両塾の統括塾長である（一社）空代表の熊田芳江さんは、日本全国の塾生たちに、福祉施設が農業で成功するノウハウを教えてきました。「農福連携を成功するカギは、なんとしても農業をやる！ というみなさんの強い覚悟です。それが伝われば、周りの農家の方たちもきっと協力してくれるでしょう」と伝えました。



## 現地からお届けするオンラインフォーラム 福岡会場

- 日 時：2023年9月20日
- 会 場：八女市民会館 おりなす八女

### 地域産業の活性化を図り、 地域とともに暮らしていく

福岡会場には、ホスト講演を行う(社福)ハイジ福祉会が栽培するガーベラが飾られています。精神障がいの方を中心に開設されたハイジ福祉会理事長の山口由紀子さんは「精神障がいの利用者さんにここが私の居場所だと安心して通える環境と仕事をつくること、それが私の役目です」と講演。その一環として精神障がいの方だけが適用されていなかった交通運賃割引について、全国の仲間と苦労を重ねて実現した経緯も説明しました。

そんな母の姿を見て、JAから福祉施設へと転職した施設長山口隆充さんは、福祉施設が地域産業ともに発展できる道を拓いています。「人手不足の農家が必要とする花卉の選定・出荷作業を行うフラワーパッケージセンターを設立。現在、自らもガーベラやトマトの栽培を行っています」とインクルーシブに働くための事業展開を説明しました。

ゲスト実践報告を行った(社福)くまもと障害者労働センター理事・事務長の野尻健司さんは「人生で一度は社会で働きたい」と願う脳性麻痺の方の言葉に心を動かされたと言います。「一人ひとりが望むライフステージを実現するため、菓子・弁当の製造販売、カフェを運営し、当事者の考えを反映した働き方を進めています」と話しました。

(一社)あんずの森代の表泉 栄さんは「うちは愛媛県松山市の小さな施設で、コロナ禍で仕事がどんどん減っていききました」と述懐。「しかしそのとき、小さいからこそその利点に気づいたことで、突破口を見つけ出せたのです。現在は、ペットフード関連の仕事や施設外就労などで巻き返し、給料増額を目指しています」と報告しました。



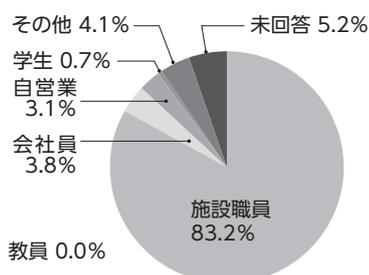
### Ⅲ. 実施日・場所・人数

開催日	開催地	会場	参加人数
9月 1日	東京	東京都立産業貿易センター浜松町館	209名
9月12日	福井	オンライン	103名
9月20日	福岡	オンライン	126名
合計			438名

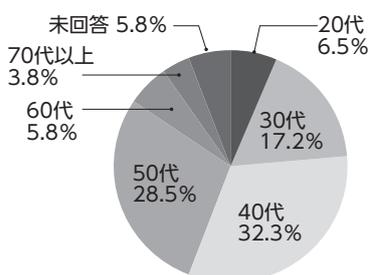
### Ⅳ. 2023年度 障がい者の働く場パワーアップフォーラム 参加者の傾向

※アンケート回答者 291名

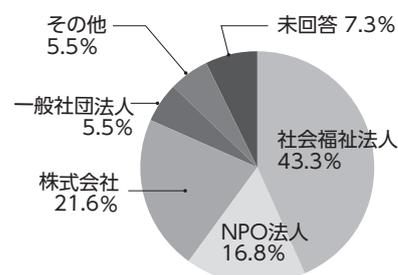
#### 職業



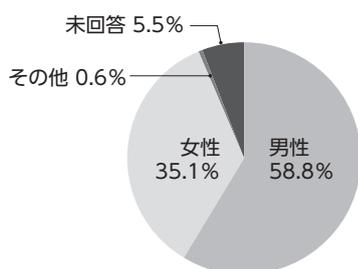
#### 年齢



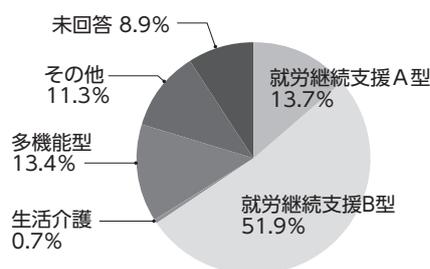
#### 所属



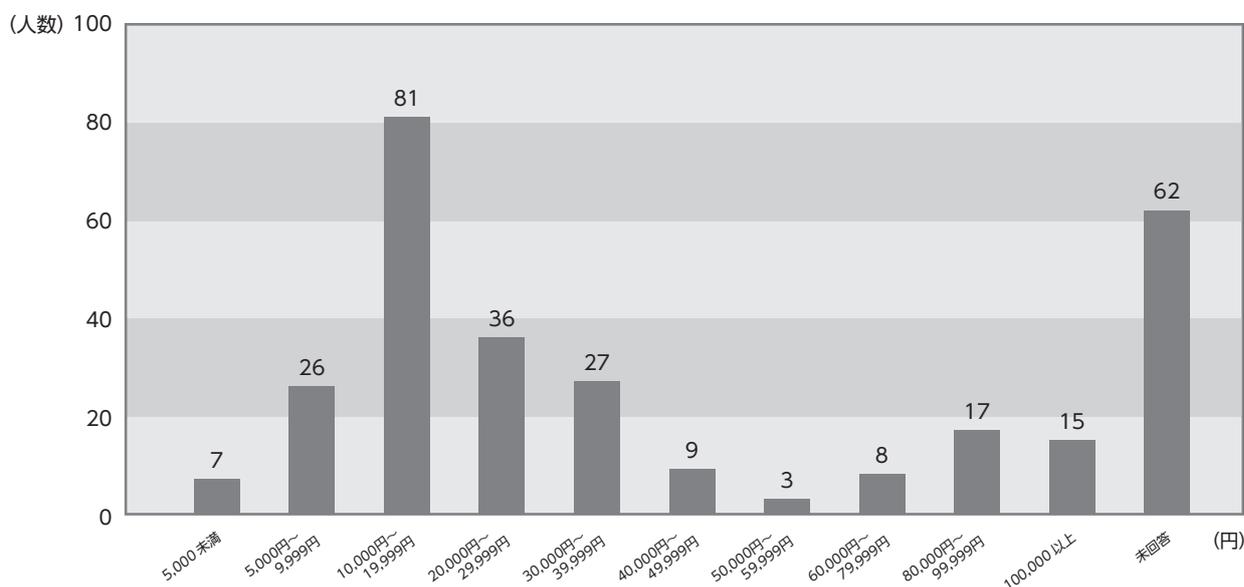
#### 性別



#### 事業区分



#### 参加施設の平均給料の分布



# 障がい者のクロネコDM便配達事業

## 〈取り組み〉

2024年1月31日	「障がい者のクロネコDM便配達事業」終了。 ヤマト運輸との契約終了後、配達業務の継続を希望する施設は、日本郵便との契約に移行。
2023年8月	施設からのクロネコDM便配達の新規申し込み停止をホームページ上で公表。
2023年6月19日	日本郵政グループとヤマトグループが持続可能な物流サービスの推進に向けた基本合意書締結を発表。 2024年1月末でヤマト運輸が取り扱う「クロネコDM便」は終了し、配達業務は日本郵便に移管することが決まる。
2021年2月～4月	クロネコDM便配達の一部を日本郵便株式会社に委託。 対象地域の障がい者施設については、ネコポスの配達業務を行う。 対象地域：山形県・福島県・富山県・福井県・奈良県・山口県・香川県・鹿児島県・北海道の一部・静岡県の一部
2019年11月～ 2020年2月	クロネコDM便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国4ヵ所の施設（東京都世田谷区・神奈川県横浜市港北区・愛知県豊橋市・奈良県北葛城郡広陵町）で開催。
2018年11月	クロネコDM便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国2ヵ所の施設（山口県周南市・長崎県長崎市）で開催。
2017年11月	クロネコDM便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国1ヵ所の施設（北海道帯広市）で開催。
2016年11月	クロネコDM便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国2ヵ所の施設（山形県鶴岡市・奈良県北葛城郡広陵町）で開催。
2016年8月	事業マニュアル、小冊子「参入の手引き」をリニューアル。 ヤマト運輸（株）品質向上推進部と連携をとり、社内に9,080部納品。
2015年10月～11月	クロネコDM便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国2ヵ所の施設（熊本県上益城郡益城町・神奈川県横浜市港北区）で開催。
2015年4月	新サービス「クロネコDM便」開始。 「障がい者のクロネコメール便配達事業」は「障がい者のクロネコDM便配達事業」へと変更。
2015年3月	「クロネコメール便」サービス廃止。
2014年10月～ 2015年2月	クロネコメール便配達本人特別報告会（地域開催の報告会）を開催。 全国3ヵ所の施設（東京都東村山市・長崎県佐世保市・栃木県小山市）で開催。

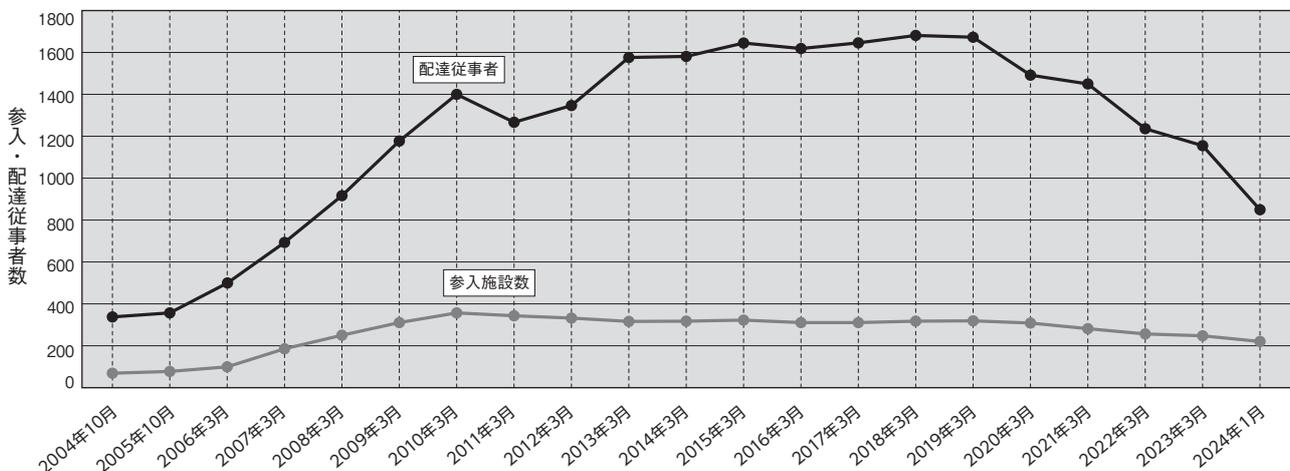
2013年10月～11月	クロネコメール便配達本人特別報告会(地域開催の報告会)を開催。 全国3ヵ所の施設(神奈川県横浜市戸塚区・熊本県上益城郡益城町・埼玉県鴻巣市)で開催。
2012年10月～11月	クロネコメール便配達本人特別報告会(地域開催の報告会)を開催。 全国4ヵ所の施設(岩手県紫波郡矢巾町・山梨県甲府市・東京都東村山市・兵庫県姫路市)で開催。
2011年10月～11月	クロネコメール便配達本人特別報告会(地域開催の報告会)を開催。 全国4ヵ所の施設(大阪市住吉区・新潟県長岡市・宮崎県都城市・山形県鶴岡市)で開催。
2010年12月12日	クロネコメール便配達 本人による特別報告会「私を、待っていてくれる人がいます。」を東北福祉大学で開催。約200名の参加者を前に、岩手県・山形県・宮城県・福島県の9施設23人が発表を行った。また実学臨床教育学生が、クロネコメール便配達施設でメール便配達を一日体験した様子を発表。
2010年10月～11月	クロネコメール便配達本人特別報告会(地域開催のミニ報告会)を開催。 全国4ヵ所の施設(神奈川県横浜市磯子区・鹿児島県鹿屋市・福島県南相馬市・東京都江東区)で開催。
2010年7月	障がい者施設向けクロネコメール便配達実績報告システム立ち上げ。 全国の事業参入施設から毎月の実績を報告してもらい、財団本部で集計するシステムを立ち上げる。
2010年6月19日	クロネコメール便配達 本人による特別報告会を大分で開催。大分県でメール便配達事業を行う9施設が参加。23人のクロネコメイトさんが、自分の工夫や、配達先での出来事を報告。
2009年12月12日	当事者33名と仙台東北福祉大学実学臨床教育推進室の学生12名、一般参加者156名による第5回メール便配達特別報告会「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。
2009年8月22日	障がい者本人によるメール便配達特別報告会、関東地区「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。関東地区157名からなる参加者に、5都県10施設のクロネコメイトさん24名が、ありのままの声をお届けした。
2009年5月～6月	事業参入マニュアルブックレット、「参入の手引き・動画版DVD」の制作と社内外への配布(200枚)。本事業のさらなる啓発広報と標準化促進を図るため、障害者支援関連団体とヤマト運輸(株)全国支店長および主管支店長、ならびにメール便営業課長に向けて配布。
2009年3月16日	全国47都道府県全参入。
2008年12月3日	配達状況アンケート調査を実施。昨年にひきつづき参入施設278ヵ所・配達従事者1,012名を対象とした調査。結果、配達に携わった約16%の障がいのある人達が一般の会社に就職。
2008年11月1日	障がい者本人によるメール便配達特別報告会、仙台地区「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。東北福祉大学学園際で120名の参加者を前に、10施設21名のクロネコメイトさんが配達実践報告。さらに、実学臨床教育推進室の学生7名が「配達一日体験」で体感した働く大変さと達成感を実践報告した。

2008年9月19日	NPO法人ソーシャル・イノベーション・ジャパン主催によるソーシャル・ビジネス賞「優秀賞」受賞。社会性・事業性・革新性の観点から、社会的事業として本事業が高い評価をうける。
2008年8月30日	障がい者本人によるメール便配達特別報告会、大分地区「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。130名の参加者が見守るなか、大分県内外から10ヵ所の施設・作業所のクロネコメイトさん27名が配達実践報告。
2008年4月	施設・作業所のクロネコメイトさんが「ヤマトファン賞」を受賞。福祉施設ドリームブイ（東京都北区）所属メイト酒井さんが、お客さまからお褒めの言葉をいただく。
2008年2月28日	（社団）日本フィランソロピー協会による第5回企業フィランソロピー大賞・特別賞「社会共生賞」を受賞。「共に生きる」意味を実感できる就業機会を提供し、また、障がい者と健常者を差別しない社会貢献のあるべき姿が本事業で取り組まれている活動として高い評価をうける。
2008年1月	ヤマト運輸（株）木川 眞社長が福祉施設を訪問。「現場で頑張っている皆さんの声を直接聞きたい」と、スワンカフェ&ベーカリー事業を展開している障がい者就労支援センター『らいむ』（町田市）を訪れ、メイトの皆さん（5名）との座談会参加と現場での配達状況を視察。
2008年1月	クロネコメール便配達事業〈個人別成長目標設定シート〉をテスト導入。潜在能力および顕在能力を開発し、自己実現するための育成支援ツールとして活用していただく。
2007年12月～ 2008年1月	12月26日時点での参入施設231ヵ所を対象に、各施設の配達状況アンケート調査を実施。
2007年12月	障害者週間事業イベントとして、（財）ナイスハート基金と東北福祉大学共催、宮城県仙台市後援によるクロネコメール便配達特別報告会（13名のメイトさんが発表）「私を、待っていてくれる人がいます。」を開催。報告会のお知らせが、11月28日朝刊・毎日新聞みやぎワイドに、河北新報12月12日朝刊に内容が掲載される。32ヵ所の施設・作業所（秋田・福島・宮城）から約100名が参加した。
2007年11月	「メール便配達リーフレット」リニューアル版発刊。沖縄、大阪、東京、青森の施設・作業所のメイトさん8名を紹介。
2007年8月	ヤマト運輸（株）が発刊するメイトさんの啓発広報誌「メイト通信」に障がいのあるメイトさんの配達状況を毎号紹介。
2007年8月	（社団）日本フィランソロピー協会より、ヤマト運輸の社会貢献活動とメール便配達事業の経緯と活動について取材を受ける。機関誌「10・11月合併号月刊フィランソロピー」に紹介される。
2007年7月	配達従事者1,004名。事業開始から34ヵ月で1,000名を達成。
2007年6月	事業マニュアル、小冊子「参入の手引き」作成。メール便営業部と連携をとり社内関係者に3,300部配布。
2007年4月	月刊誌「マリ・クレール」5月号特別付録（企業のCSR活動に焦点をあてた特集）にメール便配達事業が紹介される。
2007年3月	「配達事例集」リニューアル版発刊。全国11ヵ所の施設・作業所の配達状況を紹介。

2007年2月	イギリスのソーシャル・ファーム「リンテージ・コミュニティー・トラスト」で働く知的障がい者5名とディレクター8名の総勢13名が日本の障がい者の実情を知るために来日。クロネコメール便の配達現場を視察。
2006年12月	「障害者白書」別冊版、内閣府発行啓発広報誌「それぞれの願い」に本事業を紹介する。障害者週間(12月3日～12月9日)期間中に、各地で開催されたシンポジウム会場において配布された。(「障害者白書」テーマ、“共生する社会”について障がいのある方々ご本人や、その支援されている人々の声を取り纏めた冊子)
2006年 10月10日～12日	東京都福祉保健局・産業労働局との共催「東京の障がい者雇用・就労の新たな展開を考える」と題したシンポジウムおよび東京都第三セクター企業2社とのコラボ企画展示を開催。(ポスターパネル13点の展示と配達風景をビデオ上映)
2005年12月	障害者週間事業として、「クロネコメール便配達ポスター展」をスワンカフェ赤坂店で開催。 ・フォトグラファー平間至氏撮影によるポスターパネル13点を展示し、障がいのある人達の前向きな働く姿を紹介。 ・施設・作業所のメイトさん8名のポートレートと、事業参入全国マップを掲載した「メール便リーフレット」を配布。 (2008年12月現在 14,000部配布)
2005年10月	参入施設・作業所の“地域で働く人々の姿”を網羅した「配達カルテ」を作成。社内外に向けた事業推進のための効果的な啓発・広報資料として活用。
2005年7月	啓発広報資料として、各障がい種別全国7ヵ所の施設・作業所の配達状況を紹介した「配達事例集」を作成。 (2008年12月現在 16,000部配布)
2005年3月	社内外からの事業問合わせ増加に伴い、事業案内を一元化するため、財団HPに事業案内を掲載。
2005年2月	軽四輪車で配達を希望する施設を対象に、ヤマトリースのご協力をいただき財団特別料率を設定し、軽商用リース車の斡旋をスタート。
2004年10月	民間支援四団体加盟の全施設・作業所(3,520ヵ所)に「クロネコメール便配達事業」マニュアルを配布。 WIJメール便委員会発足(日本セルフ・ゼンコロ・社会福祉協議会・きょうされんの四団体)

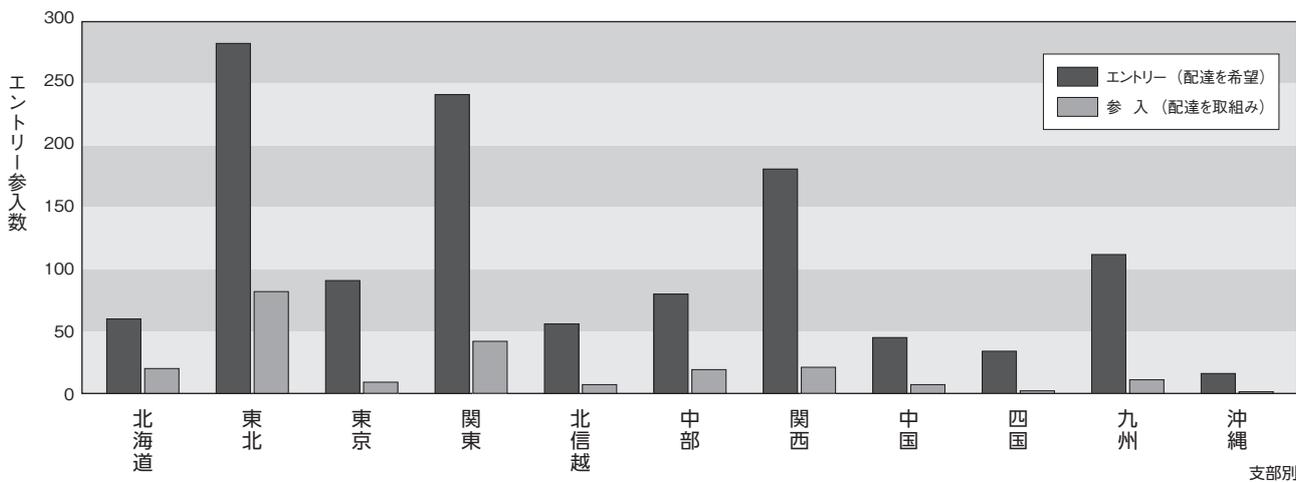
■ 補足資料 2024年1月31日現在(図表1・2・3)

図表 1. 参入施設数/配達従事者数推移 220施設/842名

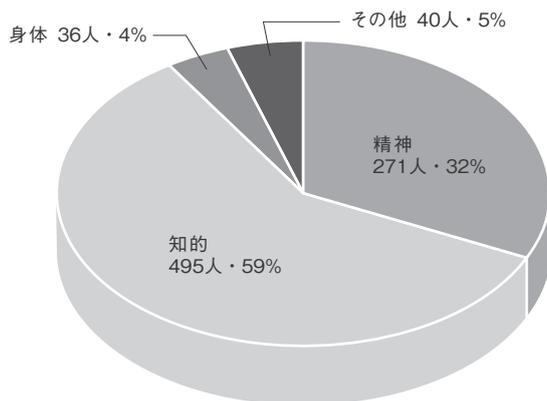


※2010年7月以降、集計方法を財団支部の報告から参入施設からの報告に変更したため実績に差が生じています。

図表 2. 全国支部別 エントリー/参入施設数 1,198施設/220施設



図表 3. 障がい別配達従事者人数とその割合



### ■ 2023年度 支部別「障がい者のクロネコDM便配達実績」時系列集計表

	報告年月	事業参入 施設数	月次報告入 力済施設数	入力率			クロネコDM 便配達従事者人数			クロネコDM 便配達冊数			1施設1日当り配達冊数		
				実績	前年	前年差	合計	前年	前年差	実績	前年	前年比	実績	前年	前年差
北海道	2023年4月	20	20	100.0%	100.0%	0.0%	79	84	-5	21,290	21,735	98.0%	59.3	60.0	-0.7
	5月	20	19	95.0%	100.0%	-5.0%	77	78	-1	19,516	19,037	102.5%	56.9	54.7	2.2
	6月	20	19	95.0%	100.0%	-5.0%	81	83	-2	22,183	23,387	94.9%	61.6	60.7	0.9
	7月	20	19	95.0%	100.0%	-5.0%	81	79	2	17,122	18,136	94.4%	55.4	53.5	1.9
	8月	20	17	85.0%	100.0%	-15.0%	74	81	-7	17,782	17,095	104.0%	63.1	47.2	15.9
	9月	20	17	85.0%	100.0%	-15.0%	68	80	-12	19,896	21,011	94.7%	68.6	58.2	10.4
	10月	19	18	94.7%	100.0%	-5.3%	71	78	-7	24,071	20,976	114.8%	71.4	63.2	8.2
	11月	19	18	94.7%	100.0%	-5.3%	72	76	-4	22,150	20,120	110.1%	72.1	55.6	16.5
	12月	19	18	94.7%	100.0%	-5.3%	70	75	-5	18,330	17,613	104.1%	60.1	50.5	9.6
	2024年1月	19	18	94.7%	100.0%	-5.3%	78	76	2	20,226	18,625	108.6%	68.8	56.8	12.0
東北	2023年4月	93	93	100.0%	100.0%	0.0%	575	542	33	90,772	96,483	94.1%	64.1	62.4	1.7
	5月	93	91	97.8%	100.0%	-2.2%	551	548	3	94,583	99,394	95.2%	66.2	66.8	-0.6
	6月	89	85	95.5%	100.0%	-4.5%	506	577	-71	92,516	103,264	89.6%	66.7	61.7	5.0
	7月	85	82	96.5%	100.0%	-3.5%	498	562	-64	71,602	83,563	85.7%	57.5	54.8	2.7
	8月	84	80	95.2%	100.0%	-4.8%	482	562	-80	66,151	82,466	80.2%	58.1	49.6	8.5
	9月	83	75	90.4%	100.0%	-9.6%	446	533	-87	71,241	93,850	75.9%	62.7	64.5	-1.8
	10月	83	76	91.6%	100.0%	-8.4%	455	576	-121	79,729	96,634	82.5%	65.7	65.1	0.6
	11月	83	76	91.6%	100.0%	-8.4%	420	571	-151	75,020	93,874	79.9%	59.4	66.2	-6.8
	12月	82	76	92.7%	100.0%	-7.3%	423	554	-131	66,825	83,196	80.3%	61.8	61.7	0.1
	2024年1月	82	66	80.5%	100.0%	-19.5%	350	562	-212	65,680	84,468	77.8%	67.7	63.7	4.0
関東	2023年4月	9	9	100.0%	100.0%	0.0%	46	48	-2	15,567	19,393	80.3%	103.8	132.8	-29.0
	5月	9	9	100.0%	100.0%	0.0%	45	47	-2	14,997	19,386	77.4%	100.0	132.8	-32.8
	6月	9	9	100.0%	100.0%	0.0%	46	44	2	16,708	18,419	90.7%	107.8	128.8	-21.0
	7月	9	9	100.0%	88.9%	11.1%	40	43	-3	15,431	15,339	100.6%	111.0	123.7	-12.7
	8月	9	9	100.0%	88.9%	11.1%	47	38	9	12,507	12,169	102.8%	96.2	105.8	-9.6
	9月	9	8	88.9%	88.9%	0.0%	44	44	0	13,897	15,258	91.1%	118.8	110.6	8.2
	10月	9	9	100.0%	88.9%	11.1%	44	39	5	16,186	18,183	89.0%	105.1	127.2	-22.1
	11月	9	9	100.0%	88.9%	11.1%	45	43	2	14,564	17,175	84.8%	106.3	133.1	-26.8
	12月	9	9	100.0%	100.0%	0.0%	49	46	3	14,715	17,497	84.1%	101.5	113.6	-12.1
	2024年1月	9	7	77.8%	100.0%	-22.2%	41	48	-7	4,103	18,009	22.8%	43.6	129.6	-86.0
南関東	2023年4月	23	22	95.7%	100.0%	-4.3%	148	163	-15	19,030	21,265	89.5%	55.2	55.7	-0.5
	5月	23	22	95.7%	95.8%	-0.2%	150	143	7	20,118	20,847	96.5%	57.0	61.7	-4.7
	6月	23	22	95.7%	100.0%	-4.3%	126	164	-38	22,146	24,542	90.2%	60.3	61.0	-0.7
	7月	23	22	95.7%	100.0%	-4.3%	161	167	-6	21,075	23,599	89.3%	62.5	49.9	12.6
	8月	23	23	100.0%	100.0%	0.0%	168	170	-2	18,524	21,255	87.2%	51.9	57.8	-5.9
	9月	23	22	95.7%	100.0%	-4.3%	162	168	-6	21,303	23,701	89.9%	67.0	63.2	3.8
	10月	22	20	90.9%	100.0%	-9.1%	156	167	-11	17,442	26,504	65.8%	58.1	71.6	-13.5
	11月	22	21	95.5%	100.0%	-4.5%	140	148	-8	17,617	24,471	72.0%	57.6	67.2	-9.6
	12月	22	21	95.5%	100.0%	-4.5%	140	148	-8	18,340	22,879	80.2%	63.2	66.1	-2.9
	2024年1月	22	16	72.7%	100.0%	-27.3%	81	165	-84	12,202	21,004	58.1%	57.0	63.6	-6.6
北関東	2023年4月	21	20	95.2%	91.7%	3.6%	88	106	-18	18,966	19,343	98.1%	62.4	57.9	4.5
	5月	21	19	90.5%	87.5%	3.0%	85	100	-15	13,974	18,492	75.6%	49.9	61.0	-11.1
	6月	21	20	95.2%	87.5%	7.7%	91	99	-8	20,329	20,737	98.0%	61.6	60.1	1.5
	7月	21	18	85.7%	87.5%	-1.8%	87	95	-8	16,255	19,231	84.5%	60.2	62.4	-2.2
	8月	21	19	90.5%	87.5%	3.0%	87	97	-10	10,871	18,053	60.2%	41.7	59.0	-17.3
	9月	21	20	95.2%	95.5%	-0.2%	88	93	-5	14,156	19,525	72.5%	49.7	62.4	-12.7
	10月	21	16	76.2%	95.5%	-19.3%	48	93	-45	10,589	20,333	52.1%	45.4	65.0	-19.6
	11月	20	18	90.0%	95.5%	-5.5%	65	93	-28	9,202	20,448	45.0%	38.8	65.1	-26.3
	12月	20	15	75.0%	95.5%	-20.5%	47	98	-51	9,930	19,245	51.6%	52.0	63.5	-11.5
	2024年1月	20	15	75.0%	95.5%	-20.5%	51	93	-42	10,697	17,393	61.5%	57.2	60.0	-2.8

## ■ 2022年度 支部別「障がい者のクロネコDM便配達実績」時系列集計表

	報告年月	事業参入 施設数	月次報告入 力済施設数	入力率			クロネコDM 便配達従事者人数			クロネコDM 便配達冊数			1施設1日当り配達冊数		
				実績	前年	前年差	合計	前年	前年差	実績	前年	前年比	実績	前年	前年差
北 信 越	2023年4月	7	4	57.1%	62.5%	-5.4%	8	15	-7	12,121	13,309	91.1%	205.4	158.4	47.0
	5月	7	3	42.9%	62.5%	-19.6%	7	15	-8	11,634	2,300	505.8%	277.0	39.0	238.0
	6月	7	4	57.1%	62.5%	-5.4%	13	15	-2	14,530	13,956	104.1%	204.6	153.4	51.2
	7月	7	3	42.9%	62.5%	-19.6%	9	15	-6	11,378	14,025	81.1%	237.0	165.0	72.0
	8月	7	4	57.1%	57.1%	0.0%	14	9	5	11,599	15,088	76.9%	178.4	232.1	-53.7
	9月	7	4	57.1%	57.1%	0.0%	14	8	6	10,580	12,212	86.6%	165.3	190.8	-25.5
	10月	7	3	42.9%	57.1%	-14.3%	10	9	1	12,174	11,766	103.5%	253.6	183.8	69.8
	11月	7	4	57.1%	57.1%	0.0%	13	9	4	11,811	12,308	96.0%	181.7	212.2	-30.5
	12月	7	3	42.9%	57.1%	-14.3%	12	9	3	12,089	11,550	104.7%	246.7	192.5	54.2
	2024年1月	7	4	57.1%	57.1%	0.0%	13	10	3	10,970	12,870	85.2%	189.1	214.5	-25.4
中 部	2023年4月	19	13	68.4%	70.0%	-1.6%	53	41	12	14,802	12,637	117.1%	83.2	69.1	14.1
	5月	19	12	63.2%	70.0%	-6.8%	33	51	-18	8,415	14,233	59.1%	59.3	80.9	-21.6
	6月	19	12	63.2%	70.0%	-6.8%	31	51	-20	10,209	16,321	62.6%	61.9	80.0	-18.1
	7月	19	14	73.7%	70.0%	3.7%	52	49	3	14,765	14,465	102.1%	77.3	71.6	5.7
	8月	19	12	63.2%	73.7%	-10.5%	33	47	-14	8,078	12,829	63.0%	50.5	66.5	-16.0
	9月	19	13	68.4%	68.4%	0.0%	61	32	29	9,220	9,934	92.8%	49.8	59.1	-9.3
	10月	19	12	63.2%	73.7%	-10.5%	63	51	12	15,102	16,147	93.5%	84.8	85.0	-0.2
	11月	19	12	63.2%	68.4%	-5.3%	60	50	10	13,316	16,282	81.8%	80.7	54.5	26.2
	12月	19	11	57.9%	68.4%	-10.5%	59	50	9	12,722	13,879	91.7%	87.7	80.7	7.0
	2024年1月	19	11	57.9%	68.4%	-10.5%	63	46	17	14,100	14,087	100.1%	102.2	87.0	15.2
関 西	2023年4月	21	17	81.0%	48.3%	32.7%	108	101	7	26,754	8,778	304.8%	90.1	35.7	54.4
	5月	21	16	76.2%	48.3%	27.9%	139	104	35	26,944	11,000	244.9%	96.9	46.4	50.5
	6月	21	17	81.0%	48.3%	32.7%	163	74	89	26,776	11,094	241.4%	84.2	44.4	39.8
	7月	21	15	71.4%	51.7%	19.7%	148	101	47	20,996	12,083	173.8%	80.8	34.0	46.8
	8月	21	16	76.2%	48.3%	27.9%	159	72	87	17,259	7,615	226.6%	71.9	36.6	35.3
	9月	21	16	76.2%	48.3%	27.9%	133	70	63	19,696	10,841	181.7%	76.9	45.6	31.3
	10月	21	16	76.2%	48.3%	27.9%	157	93	64	20,198	11,631	173.7%	78.9	51.2	27.7
	11月	21	16	76.2%	48.3%	27.9%	156	71	85	20,503	10,967	187.0%	83.3	46.7	36.6
	12月	21	15	71.4%	48.3%	23.2%	154	74	80	20,658	10,767	191.9%	93.5	46.2	47.3
	2024年1月	21	15	71.4%	48.3%	23.2%	140	96	44	19,551	11,617	168.3%	88.9	57.8	31.1
中 国	2023年4月	7	7	100.0%	100.0%	0.0%	10	24	-14	3,852	4,548	84.7%	46.4	42.9	3.5
	5月	7	7	100.0%	100.0%	0.0%	10	24	-14	3,428	4,375	78.4%	43.4	44.2	-0.8
	6月	7	6	85.7%	100.0%	-14.3%	7	20	-13	3,899	3,773	103.3%	47.5	40.6	6.9
	7月	7	6	85.7%	100.0%	-14.3%	7	20	-13	2,421	3,169	76.4%	32.3	38.2	-5.9
	8月	7	6	85.7%	100.0%	-14.3%	7	20	-13	2,230	3,468	64.3%	39.1	40.8	-1.7
	9月	7	6	85.7%	100.0%	-14.3%	7	10	-3	2,977	2,862	104.0%	37.7	42.7	-5.0
	10月	7	6	85.7%	100.0%	-14.3%	7	10	-3	3,399	3,680	92.4%	43.6	41.3	2.3
	11月	7	6	85.7%	100.0%	-14.3%	7	10	-3	3,304	4,178	79.1%	41.8	51.0	-9.2
	12月	7	6	85.7%	100.0%	-14.3%	7	20	-13	2,557	3,246	78.8%	36.5	43.3	-6.8
	2024年1月	7	6	85.7%	100.0%	-14.3%	7	10	-3	2,928	3,157	92.7%	42.4	58.5	-16.1
四 国	2023年4月	2	1	50.0%	66.7%	-16.7%	1	4	-3	785	609	128.9%	34.1	19.6	14.5
	5月	2	1	50.0%	66.7%	-16.7%	1	4	-3	379	286	132.5%	19.9	10.2	9.7
	6月	2	1	50.0%	66.7%	-16.7%	1	4	-3	894	678	131.9%	34.4	19.4	15.0
	7月	2	1	50.0%	33.3%	16.7%	1	3	-2	729	51	1429.4%	30.4	5.1	25.3
	8月	2	1	50.0%	33.3%	16.7%	1	3	-2	401	57	703.5%	16.7	7.1	9.6
	9月	2	1	50.0%	66.7%	-16.7%	1	4	-3	579	591	98.0%	26.3	19.7	6.6
	10月	2	1	50.0%	66.7%	-16.7%	1	4	-3	530	637	83.2%	22.1	19.9	2.2
	11月	2	1	50.0%	66.7%	-16.7%	1	4	-3	643	637	100.9%	26.8	19.9	6.9
	12月	2	1	50.0%	66.7%	-16.7%	1	4	-3	497	908	54.7%	20.7	30.3	-9.6
	2024年1月	2	1	50.0%	66.7%	-16.7%	1	4	-3	450	608	74.0%	19.6	19.6	0.0

## ■ 2022年度 支部別「障がい者のクロネコDM便配達実績」時系列集計表

報告年月	事業参入 施設数	月次報告入 力済施設数	入力率			クロネコDM 便配達従事者人数			クロネコDM 便配達冊数			1施設1日当り配達冊数			
			実績	前年	前年差	合計	前年	前年差	実績	前年	前年比	実績	前年	前年差	
九 州	2023年4月	11	10	90.9%	100.0%	-9.1%	55	81	-26	21,321	24,934	85.5%	116.5	94.4	22.1
	5月	11	9	81.8%	100.0%	-18.2%	58	80	-22	21,563	23,705	91.0%	126.8	98.4	28.4
	6月	11	10	90.9%	100.0%	-9.1%	60	79	-19	24,104	26,721	90.2%	121.7	96.1	25.6
	7月	11	10	90.9%	100.0%	-9.1%	56	78	-22	18,467	21,697	85.1%	97.7	85.8	11.9
	8月	11	10	90.9%	100.0%	-9.1%	56	78	-22	16,544	21,771	76.0%	93.5	87.1	6.4
	9月	11	10	90.9%	100.0%	-9.1%	58	78	-20	22,284	23,140	96.3%	116.1	94.8	21.3
	10月	11	9	81.8%	100.0%	-18.2%	54	77	-23	20,161	26,258	76.8%	116.5	102.6	13.9
	11月	11	10	90.9%	100.0%	-9.1%	54	80	-26	20,101	27,542	73.0%	109.8	108.4	1.4
	12月	11	10	90.9%	100.0%	-9.1%	52	82	-30	20,525	27,121	75.7%	111.5	115.9	-4.4
	2024年1月	11	6	54.5%	100.0%	-45.5%	17	82	-65	14,827	23,329	63.6%	137.3	102.3	35.0
沖 縄	2023年4月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				
	5月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				
	6月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				
	7月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				
	8月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				
	9月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				
	10月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				
	11月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				
	12月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0				
2024年1月	1	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	0	0					

報告年月	事業参入 施設数	月次報告入 力済施設数	入力率			クロネコDM 便配達従事者人数			クロネコDM 便配達冊数			1施設1日当り配達冊数			
			実績	前年	前年差	合計	前年	前年差	実績	前年	前年比	実績	前年	前年差	
全 国	2023年4月	234	216	92.3%	89.2%	3.1%	1,171	1,209	-38	245,260	243,034	100.9%	72.2	66.0	6.2
	5月	234	208	88.9%	88.4%	0.5%	1,156	1,194	-38	235,551	233,055	101.1%	71.7	67.3	4.4
	6月	230	205	89.1%	88.8%	0.4%	1,125	1,210	-85	254,294	262,892	96.7%	73.5	67.4	6.1
	7月	226	199	88.1%	88.4%	-0.3%	1,140	1,212	-72	210,241	225,358	93.3%	68.1	60.0	8.1
	8月	225	197	87.6%	88.2%	-0.7%	1,128	1,177	-49	181,946	211,866	85.9%	62.9	58.5	4.4
	9月	224	192	85.7%	88.9%	-3.2%	1,082	1,120	-38	205,829	232,925	88.4%	69.9	67.4	2.5
	10月	222	186	83.8%	89.2%	-5.4%	1,066	1,197	-131	219,581	252,749	86.9%	73.3	72.2	1.1
	11月	221	191	86.4%	88.8%	-2.4%	1,033	1,155	-122	208,231	248,002	84.0%	69.1	69.9	-0.8
	12月	220	185	84.1%	89.1%	-5.0%	1,014	1,160	-146	197,188	227,901	86.5%	72.9	69.0	3.9
	2024年1月	220	165	75.0%	89.1%	-14.1%	842	1,192	-350	175,734	225,167	78.0%	74.0	71.5	2.5

# 2023年度 「夢へのかけ橋 実践塾」実施報告

## I. 夢へのかけ橋 実践塾とは 2023年度の報告

「夢へのかけ橋 実践塾」は、夢へのかけ橋プロジェクトのテーマ“経済的自立力を備えた新しい福祉”に向かって行動を起こす施設の職員を塾生とし、利用者さんの給料増額という目的を達成するための研修会です。“2023年度は、2022年度に修了した楠元塾が、1期生～3期生までを集めてフォローアップ研修を行いました。”

## II. 研修内容

各塾は独自に研修会、見学会、勉強会、塾長による塾生施設の視察などを実施し、塾生や目指す事業が抱える課題を具体的に解決できる取り組みを目指しています。また、複数の塾が一つの会場で合同研修会を開くことにより、互いに情報交換を行う機会も提供し、給料増額の目標達成に繋がる効果も狙っていきます。

### 楠元塾フォローアップセミナー参加施設

期	法人名	(お弁当事業の) 事業所名	事業所形態	就労事業品目
1	(NPO) さくらんぼのお家	さくらんぼのお家	A型、B型就労継続支援	弁当、配送、老人ホーム介護食、製菓、製パン
1	(NPO) シャロームの会	キッチンハーモニー ポコ	就労移行・就労継続B型	お弁当、レストラン
2	(NPO) レス(イトケアはちもり)	お食事処森のこびと・工房森のこびと	就労継続B型	日替わり弁当、クッキー・焼き菓子
2	入間東部福祉会	三芳太陽の家 福祉喫茶ハーモニー	就労継続支援B型	お弁当、喫茶、菓子製造
2	(NPO) 山脈	キッチンハウスみやま	就労継続支援B型	お弁当
2	(社福) 小国町社会福祉協議会 サポートセンター悠愛	就労支援センター 陽なたほっこ	就労移行支援・ 就労継続支援A型	お弁当(配食)、レストラン
2	(株) コンプリメント	①西宮ひがわり弁当 ②尼崎ひがわり弁当	就労継続支援B型	弁当
2	(一社) おひさま	弁当屋トボス	就労移行・就労継続支援B型	お弁当
3	(同) エルアクト	むぎのね	就労継続支援B型	お弁当
3	(社福) あしたの会	どんぐり村福祉工場	就労継続支援A型(弁当) 就労継続支援B型(パン・クッキー)	弁当・パン・クッキー
3	(社福) 矢吹厚生事業所 わーくる矢吹	お弁当 和来	就労支援B型	弁当
3	(NPO) コミュニティ益田	かまで	就労継続支援B型	弁当
3	(NPO) ともいき	就労支援センターみらいず	就労継続支援B型	お弁当・お菓子
3	(NPO) Joint Joy	Joint Joy	就労継続B型	お弁当 菓子 農産物 くみひも
3	(社福) くまもと障害者労働センター おれんじ村	くまもと障害者労働センター おれんじ村	就労継続支援B型	お弁当
3	(社福) 敬和会	就労支援センター ハーモニー	就労継続支援B型	お弁当、カフェ

# 楠元塾 フォローアップセミナー



「弁当・配食サービス事業」を対象として給料増額を目指す楠元塾。楠元塾長((社福)キャンパスの会理事長)は、自分たちのつくりたいものでなく、「お客様が求める売れるメニューづくり」を指導します。合い言葉は「見て楽しい、食べて美味しい、価格で嬉しい」。活動の原点は、利用者さんの給料アップということを改めて伝えています。

●塾長:(社福)キャンパスの会 理事長 楠元 洋子氏

## フォローアップセミナー

●日時:2024年1月19・20日

●場所:(一社)おひさま いいはたらくばトポス 弁当屋トポス(茨城県牛久市)

2024年1月19日、楠元塾の塾生1～3期までの16施設17名を集めて、フォローアップセミナーを実施しました。場所は2期生で塾長賞を獲得した小林綾子さんの「弁当屋トポス」です。1日目の午前中は、塾生が交替で厨房を見学。午後から翌日の終了まで、塾生の現状報告、日頃の疑問などを出しあって、ディスカッションを行いました。

まず弁当屋トポスの小林さんが報告しました。入塾した頃はお弁当製造を始めたばかりで、1日の製造数が約75個でした。5年後の2023年11月には717個、売上も月平均73万円から約580万円の8倍になりました。平均工賃も約2万円から、5万円を超えています。「32名の利用者工賃5万円を達成するには、160万円の利益が必要だと逆算しました。そのための1日の販売個数を割り出し、それを目標にして、トライアンドエラーを繰り返してきたら、目標に到達しました」と話します。

「工賃を上げるための目標がしっかり決まっていて、残った惣菜を違う形に変えて、徹底して売ってしまうという精神が素晴らしい。みなさんも、個数を一気に増やそうと思うのではなく、1日1個増やせば20日で20個増える、次は1日2個増やすように考えれば、実行も身近なものになっていきます」と楠元塾長。

「自分たちがやろうとしているのは、利用者さん達の工賃アップです。いろいろなことに迷ったら、この原点に戻ってください」と、塾生に熱く伝えます。

塾生報告では、高齢者食に挑戦する塾生、売上が10倍になっていままでと桁違いのボーナスを出せたと報告する塾生等々、それぞれの情報を共有し、1期から3期までの塾生が一つになって、新しいネットワークを繋ぐ研修会となりました。



# 2023年度 「農福連携実践塾」実施報告

## I. 農福連携実践塾とは

2020年、福祉・農業・ブランディングのエキスパートを指導者に迎え、農業を事業として利用者へ給料を支払い、きちんと運営して行くには具体的にどうしたら良いかを実践的に学ぶ「農福連携実践塾」を開講しました。

2020年9月から2023年3月まで（コロナ禍の影響で当初予定から期間を延長）、日本全国から12施設の塾生が参加し、農業を福祉施設の事業の柱として利用者さんの仕事の拡大、給料増額を目指してきました。2023年度は、さらに「ぶどう」と「たまねぎ」の栽培品目に絞って1年間、栽培技術を実践的に学び、作業内容や事業運営の仕組みについても情報共有する「ぶどう栽培塾」、「たまねぎ栽培塾」を実施しました。

## II. 研修内容

「ぶどう栽培塾」、「たまねぎ栽培塾」それぞれで研修会、見学会、塾生施設の視察などを開催し、一人ひとりの抱える問題を具体的に解決できる取り組みを目指します。また、塾生間での情報交換や事業の連携も行える機会を提供し、全員が給料増額の目標達成に繋がる効果も図っていきます。

- ・ 農業で就労、雇用して給料向上を目標とし、1泊2日の宿泊研修を年3～4回開催
- ・ 栽培や販売など農業に関する取り組み方や改善について、事業プランを作成
- ・ 毎回、塾長施設に集まり塾長からその場で直接学び、実際に経験することで、栽培技術を習得することができます。
- ・ 先行施設の紹介や現地見学会、グループディスカッションを行いながら、PDCAサイクルをかけて成果を出します

## III. スケジュール

	ぶどう栽培塾	たまねぎ栽培塾
2023年4月	第1回ぶどう栽培塾（2023年4月27・28日） ・ ぶどうハウス見学 ・ 体験研修（花穂成形） ・ 講義（ぶどう栽培のやり方）	就労継続B型
5月	第2回ぶどう栽培塾（2023年5月18・19日） ・ 体験研修（ジベレリン処理と摘芯作業） ・ 講義（ジベレリン処理後の作業について）	第1回たまねぎ栽培塾（2023年5月24・25・26日） ・ ゆずりは会、菜の花他事業所を見学 ・ 体験研修（たまねぎ収穫） ・ 講義（たまねぎの栽培体系）
6月	第3回ぶどう栽培塾（2023年6月15・16日） ・ 体験研修（摘粒・袋かけ・傘かけ） ・ 講義（摘粒・袋かけについて） ・ ピアファームの工賃規程説明	
7月		
8月		

	ぶどう栽培塾	たまねぎ栽培塾
9月	第4回ぶどう栽培塾 (2023年9月11・12日) ・ぶどう栽培塾研修会まとめ ・体験研修 (収穫) ・パワーアップフォーラム福井参加	第2回たまねぎ栽培塾 (2023年9月21・22日) ・体験研修 (太陽熱マルチを剥がす、播種) ・圃場見学 ・研修会 (現状報告・質疑応答)
10月		
11月		第3回たまねぎ栽培塾 (2023年11月17・18日) ・研修会 (成果発表) ・体験研修 (苗の定植)
12月		
2024年1月		
2月	第2期第1回ぶどう栽培塾 (2024年2月23・24日) ・ぶどうハウス見学 ・講義「農業で工賃向上を目指したぶどう栽培の取り組み」 ・体験研修 (剪定)	塾長視察 (2024年2月29日・3月1・2日) ・チームビレッジ視察 ・楽ワーク福祉作業所視察 ・ほのぼの視察
3月		



●統括塾長  
(一社)空  
代表理事 熊田芳江氏

精神保健福祉士、社会福祉士。2004年「こころん」設立。安心・安全な農作物を生産しながら養鶏場を経営。また、地元企業と6次産業化を目指す新商品の開発、地元の野菜や加工品を直売するカフェ「こころや」の運営など、農家・地域企業・福祉が連携できる新事業を創出。2021年(一社)空を設立、代表理事。第14回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞受賞(2013年度)。2015年10月より夢へのかけ橋実践塾熊田塾塾長、2020年9月より農福連携実践塾塾長。



●ぶどう栽培塾塾長  
(NPO)ピアファーム  
理事長 林 博文氏

2008年、農業で工賃給与向上を目指すことを事業目標にピアファームを設立。2011年にNPO法人として全国数少ない認定農業者になる。第16回ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞(2015年度)。



●たまねぎ栽培塾塾長  
(社福)ゆずりは会 菜の花  
管理者 小淵久徳氏

1974年群馬県生まれ。東北学院大学経済学部を卒業後地元のホテル、農協勤務を経て、2011年(社福)ゆずりは会入職。ゆずりは会「ゆずりは」の就労移行支援部長等を経て、2015年菜の花(就労継続B型)で現職。2014年ヤマト福祉財団「夢のかけ橋実践塾」第1期熊田塾入塾。2020年第2期熊田塾に参加。農林水産省認定農福連携技術支援者。農福連携特例子会社連絡会オブザーバー。ノウフクJAS認証検査員。

# ぶどう栽培塾

## ぶどう栽培塾：8施設（2024年3月現在）

【法人名】	【事業所名】	【事業所形態】	【事業内容（要旨）】
特定非営利活動法人縁活	おもや	就労継続支援B型	ブドウ、野菜、いちじく
社会福祉法人有田つくし福祉会	早月農園	就労継続支援B型	みかん、梅、山椒、野菜、加工品
社会福祉法人ゆずりは会	エール	就労継続支援B型	米、たまねぎ他野菜、ブドウ
NPO法人ディーセント・ファーム	ディーセント・ファームかしわら	就労継続支援B型	2024年9月にB型事業所開設予定
NPO法人ウッドピアはなわ	ウッドピアはなわ	就労継続支援B型	造花、施設外就労、内職、野菜
社会福祉法人ひろせ福祉会	工房ひろせ	就労継続支援B型	アスパラガス栽培
社会福祉法人むそう	かわせみ工房	就労継続支援A・B型	無農業野菜の栽培、パン焼き菓子製造ほか
一般社団法人空	土水空ファーム	自立訓練	ハウス栽培、CSA運営ほか

## 第1回ぶどう栽培塾

● 日 時：2023年4月27・28日 ● 場 所：(NPO) ピアファーム

【花穂成形】 第1回目の体験研修はキングデラウエアの「花穂成形」に取り組みました。

花穂成形は、房の大きさを調整して、形を整えることが目的です。実の数を制限することで養分を房全体に回し、実を大きくさせます。

林塾長が、元々ここでぶどうハウスをやろうと思ったのは、利用者さんが雨の日にできる仕事が欲しいと思ったから。ぶどうはやり方次第で収益が上げられる品種です。農業で4,000万円、5,000万円の収益を上げようと思ったら、機械化もしなくてはいけないが、手作業が多い分、房づくりも利用者さんが取り組めるといいます。



房の先端から6.5cm残し、上の房をカット



実の数を減らす花穂成形



ジベレリン処理のためマーカ―として2房残す



ぶどう栽培のやり方を座学で



一房2,000円になるように



実際の作業で学ぶ

## 第2回ぶどう栽培塾

● 日 時：2023年5月18・19日    ● 場 所：(NPO) ピアファーム

【ジベレリン作業】 ジベレリンは、自然界にある植物ホルモンで成長に関わる動きをしています。ジベレリン処理をすることで、顆粒を種なしにしたり、肥大させる効果があります。ジベレリン処理は2回実施。研修では液剤をつくり、1回ぶどう塾で花穂成形を行ったキングデラウエアのジベレリン処理を行いました。



ジベレリン液をつくる



ジベカップに液剤を入れてぶどうの房を浸す



塾生と一緒に作業を行う熊田統括



1回目からこんなに大きくなった



ジベレリン処理を行う塾生



質疑応答も重要な情報共有

## 第3回ぶどう栽培塾

● 日 時：2023年6月15・16日    ● 場 所：(NPO) ピアファーム

【摘粒・袋かけ】 ぶどうは何もしないとたくさんの粒がつきます。市販されているぶどうの実が大きく、1粒20gくらいするものも多い。そのようなぶどうを作るために行う作業が摘粒で、いわゆる「粒抜き」です。粒を抜くことで糖度を高くして、美味しい味、房の形を作るための作業です。今回は藤稔の摘粒作業を行いました。



粒がパンパンに



粒を一つずつ抜いていく



摘粒したぶどう



前回のジベレリン処理で種なしに



傘かけ



袋かけ

## 第4回ぶどう栽培塾

● 日 時：2023年9月11・12日    ● 場 所：(NPO) ピアファーム

【収 穫】 ぶどう栽培塾の最終回となる第4回では、林塾長による講義を行いました。

1.ぶどうの房数と計画販売、2.シャインマスカットの集計表、3.観光ぶどう園の来客数と売上、4.5年間のぶどう販売の推移、5.ぶどう品種ごとの売上について、ピアファームの現状を、それぞれの数字で表しました。

「稼ぐことを考える。計画を立てる。そのために記録をとる。愚直にこの仕事にしがみつくと。そして格調高く」  
 「助成金を申請することは自分がジャンプアップするための計画なので、失敗しても良いからあえて申請を出す。そのために現状を知り、計画を立てて次の戦略を立てるといことが大事です。それが工賃向上に繋がります」と、塾生へのメッセージを伝えました。



# たまねぎ栽培塾

## たまねぎ栽培塾：8 施設 (2024 年 3 月現在)

【法人名】	【事業所名】	【事業所形態】	【事業内容】
社会福祉法人くりのみ園	NATURALGARDENくりのみ	多機能型	平飼い養鶏、稲作、畑、青果ほか
特定非営利活動法人縁活	おもや	就労継続支援B型	ブドウ、野菜、いちじく
NPO法人ウッドピアはなわ	ウッドピアはなわ	就労継続支援B型	造花、施設外就労、内職、野菜
株式会社百笑会	まめの木農園 石岡	多機能型	サツマイモ、長ネギ、ほか
合同会社ソルファコミュニティ	TEAM VILLAGE	就労継続支援A型	野菜、果樹の栽培
株式会社楽ワーク福祉作業所	楽ワーク福祉作業所	多機能型	減農薬栽培による野菜
日本労働者協同組合センター事業団	国分地域福祉事業所ほのぼの	就労継続支援B型	自然栽培による田畑栽培
社会福祉法人無門福祉会	むもんカンパニー	就労継続支援B型	自然栽培による田畑栽培ほか

## 第1回たまねぎ栽培塾

● 日 時：2023年5月24・25・26日 ● 場 所：(社福) ゆずりは会 菜の花

【収 穫】 第1回たまねぎ塾は、工程の最後になる収穫の体験研修からスタートしました。1日目は夕方に集合し自己紹介を兼ねたミーティングを開催。2日目は午前にはゆずりは会の菜の花をはじめ、ゆずりは、エールなど事業所を見学しました。午後から菜の花の圃場でたまねぎの収穫です。手掘り、トラクターや、機械を使用して収穫を体験しました。3日目はたまねぎ栽培の種蒔きから収穫までの全体の流れを学習。小淵塾長の「絶対」守らなければならない栽培工程を講義していただきました。



菜の花の事業所を見学



マルチを剥がした畑



トラクターを使った収穫



手押しピッカーという機械で収穫



菜の花の利用者と一緒に収穫



講義する小淵塾長

## 第2回たまねぎ栽培塾

● 日 時：2023年9月21・22日 ● 場 所：(社福) ゆずりは会 菜の花

【播 種】 第2回たまねぎ栽培塾の体験研修は「播種」です。1ヵ月以上、太陽熱マルチで殺菌した土に種をまきます。通路の草の生えている土が、消毒した土に入らないように太陽熱マルチを剥がし、そこに「ごんべえ」という種まき機を使って播種。そのあとに寒冷紗（メッシュの被覆材）でトンネルがけをしました。寒冷紗をかけるのは、種蒔きのあと、台風などで種が流されたり、土が固まるのを防ぐためです。



太陽熱マルチを剥がす



播種する土に通路の土が入らないように注意



たまねぎの種



「ごんべえ」を使って播種の作業



播種が終わったら寒冷紗をかけるまでが「絶対」の作業



## 第3回たまねぎ栽培塾

● 日 時：2023年11月17・18日 ● 場 所：(社福) ゆずりは会 菜の花

【定 植】 第3回たまねぎ栽培塾は、体験研修の修了となります。1日目は塾生の栽培状況の現状と成果を発表。栽培についての質疑応答も行いました。2日目は、第2回たまねぎ栽培塾で種蒔きをした圃場から苗を掘り出し、圃場を移動して定植を行いました。



根を傷つけないように苗を掘り出す



根を水につける



マルチに穴を開ける



穴を開けたところに苗を植える



根が入っていたコンテナの水をかける



機械で定植



機械の場合、苗は葉を20cmくらいに切る



苗を活着させるため、マルチの上から土をかける

## 塾長視察

● 日 時：2024年2月29日、3月1・2日

● 場 所：チームビレッジ(沖縄県中頭郡)／楽ワーク福祉作業所(沖縄県南城市)／ほのぼの(鹿児島県霧島市)

沖縄・鹿児島地域は、たまねぎの収穫時期が早いいため、それに合わせていち早く成果の確認として、塾長視察を実施しました。

### -----【 チームビレッジ 】-----

圃場が7ヵ所(3.5h)に点在し、たまねぎ、パニラ、バナナなどの栽培を行っています。たまねぎ塾に参加して、意識が変わって仕事の取り組みや、行動が変わってきたと話す塾生。「工賃向上を目的に、施設のあり方、経営のあり方など、たまねぎ栽培にプラスして学ぶことができました」。



### ----【 楽ワーク福祉作業所 】----

楽ワーク福祉作業所の農業の柱は、沖縄在来の野菜で通年の収穫ができる「からし菜」です。年間約15tを収穫。たまねぎは塾で学んだ太陽熱マルチを使った圃場ではほぼ草取りをしなくて、たまねぎがとても大きくなったといいます。1反で1tの収穫がありました。



### -----【 ほのぼの 】-----

栽培の方法を一から学ぶことができたのが一番の収穫。「塾で学んだ方法は昨年と全然違う。草取りの時間が省けたのも感動」と塾生。小淵塾長は、「今年より来年、栽培ができるようになったら、どう販売していくかを事業所のみなさんと進めてもらえたら、塾の大きな成果だと思う」と話しました。



## 第2期 ぶどう栽培塾

### 第1回ぶどう栽培塾

● 日 時：2024年2月23・24日

● 場 所：(NPO) ピアファーム

【ぶどうの剪定】 第2期ぶどう栽培塾がスタートしました。1日目、最初に林塾長による「農業で工賃向上を目指したぶどう栽培の取り組み」と題して、ピアファームを事例に販売から栽培方法・工賃向上のためにどんな考え方を実践しているかをお話いただきました。

2日目は剪定のやり方、短鞘管理、芽傷の入れ方などを学びました。剪定は樹勢を押さえ、樹形を整え管理しやすくします。塾生は実際に枝のどの部分を剪定すれば良いか、何度も確認しながら作業を行いました。



講義する林塾長



剪定の仕方を現場で学ぶ



何度も聞きながら枝を落とす塾生

# 「販路拡大研究会」活動報告

昨年度、ヤマト福祉財団は、広島県で障がい者事業所が実行委員となり、自分たちが作る商品の販路拡大を目指し検証・検討する「販路拡大研究会」を発足し活動を行ってきました。販路を広げ利用者さんの給料をアップするには「まずは一人でも多くの地域の方に商品を知っていただくことが大切」です。実行委員は、地元の事業所に呼びかけるとともに、広島県就労支援センターの協力も得て大規模なマルシェを企画。2024年3月2日、広島駅側にあるイベント会場・エキキターレで「ヒロシマルクト」を開催しました。

## 大規模マルシェ「ヒロシマルクト」

- 日 時：2024年3月2日
- 会 場：エキキターレ（広島県広島市）

「ヒロシマルクト」には、広島県内の自主製品を取り扱う23の事業所が出店。会場は、飲食エリア、雑貨エリア、キッチンカーエリア、野菜・素材エリアに分かれ、各事業所オリジナルの多彩な商品を来場者にアピールしました。

さらにチョコレートや缶バッジづくりなどを体験できるワークショップも展開。利用者さんが中心となる、県内でも有名なダンスチームがパフォーマンスを披露すると、会場は大いに盛り上がりました。

当日は、朝から小雪が舞う生憎の天気でしたが、839名の方が会場を訪れました。この様子を地元テレビ局や新聞社が報道。来場者のなかにはSNSで発信していただけた方もあり、より多くの人々の関心を集めることができました。

参加者たちは「この悪条件でも満足できる売上にできた」「たくさんの方から直接感想を聞いて自信になった」「これだけの数の事業所が集まると注目度もパワーも違う」と手応えを得た様子です。実行委員たちは「今後はマルシェだけでなく、工賃向上に向けた仕掛けづくりも」と早速次のプランに着手しています。また、準備段階から地域の方たちとも協力し合うことで、互いのつながりなどの気づきを得られたことも、大きな成果となりました。



# 「自然栽培パーティ」活動報告

2015年に5ヵ所の障がい者施設を対象に、第15回ヤマト福祉財団小倉昌男賞受賞者の佐伯康人さんを指導者に迎え、無農薬・無肥料の自然栽培検証プロジェクトとして「水稻栽培チャレンジ」を実施しました。

その後、安心・安全な農作物を育て、付加価値の高い農産物として売上を伸ばし、利用者さんの給料増額を目指すために「一般社団法人農福連携自然栽培パーティ全国協議会（自然栽培パーティ）」が立ち上がりました。

活動の主人公は、農業に励む障がい者のみなさんで、彼らを「農福師」と呼び、毎年自然栽培アワードとして讃えています。

5施設からスタートした自然栽培のネットワークは、2023年度には136施設（3月末現在、福祉施設・企業・個人）に広がりました。

ヤマト福祉財団は、水稻栽培チャレンジから自然栽培パーティの活動をさまざまな角度から支援しています。

## 自然栽培パーティ 全国フォーラム2023in金沢

● 日 時：2023年12月15・16日

● 場 所：ホテル金沢（石川県）

2016年から毎年開催されている自然栽培パーティの全国フォーラム。2023年12月に石川県のホテル金沢で、自然栽培パーティの仲間やこの取り組みに関心のある一般の方を含め100名以上が参加して開催されました。

これまでの全国フォーラムは、自然パーティを知っていただきネットワークを広げることを目的に開催してきましたが、今年は、メンバーのさらなるパワーアップを目的に、従来のフォーラム形式ではなく円卓を囲んでグループワーク形式に変更。全国で成果を上げている7グループの先輩からのアドバイスをもとに、メンバーが抱える苦労や悩みについて、活発な意見交換が行われました。

グループワーク以外にも、2022年に公開されたドキュメンタリー映画「種まいて水やって 自然栽培パーティ!」を上映。自然栽培パーティの名誉顧問である木村秋則氏から世界で先行実践されている自然栽培の意義や必要性について「自然栽培パーティへの期待」というテーマで講演をいただきました。

毎年の恒例となっている自然栽培アワードでは、功績や成長のあった農福師たちを表彰。いつも見られる光景ですが、一人ひとりへの心のこもったメッセージが記載された表彰状に、読み上げる管理者も参加者も目頭を熱くしていました。

2日目は、「日本の資本主義の父」と称されている澁澤栄一氏のひ孫に当たる澁澤寿一氏の講演が行われました。寿一氏は農学者でNPO法人共存の森ネットワークの理事長をされています。近年暴走し始めている資本主義に疑問を示すと共に、「人類と地球の共存」が大切だと力説し、持続可能な社会のために自然栽培パーティが大きな役割を担っていることを話されました。

交流会も含め、参加者全員が気持ちを高めあい、明日へ続くノウハウを共有する貴重なフォーラムとなりました。



## 「ゆいジョブ! 実行委員会」活動報告

「ゆいジョブ!」は、2018年～2021年に実施したパワーアップフォーラム沖縄の実行委員が立ち上げた「働きたいと願う障がいのある方と、雇用したいと考える企業」を結ぶマッチング情報局です。ゆいジョブ!の名前は、沖縄の方言「ゆいまーる(助け合い)」から来ています。その名にふさわしくゆいジョブ!実行委員会は障がいのある方と企業の双方がリアルで出会うイベントを開催するほか、ゆいジョブ!サイトを活用した地域の福祉事業所や就労先企業の紹介などを実施。沖縄の障がいのある方の「将来設計」を、企業も地域の方も一体となって応援するさまざまな活動を展開しています。

### おしごと発見フェア2023連絡会

- 日 時：2023年5月31日
- 会 場：沖縄県立博物館・美術館講座室(沖縄県那覇市)

「8月に開催予定のおしごと発見フェア2023は、沖縄コンベンションセンターの展示棟を借りて、前年以上にスケールを拡大。より多くの方に、企業に参加してもらおう」と、ゆいジョブ! 実行委員会は着々と準備を進めています。

5月31日に行った連絡会では、地元企業や支援学校などを対象に合同企業説明会、おしごとチャレンジ体験会、就職なんでも相談会の内容や目的を丁寧に解説。おしごと発見フェアへの参加・協力を呼びかけました。



### おしごと発見フェア2023

- 日 時：2023年9月14日
- 会 場：沖縄コンベンションセンター(沖縄県宜野湾市)

台風の影響を受け、8月開催の予定が9月に延期された「おしごと発見フェア2023」。それでも「この機会にぜひ直接顔を合わせて話しができたら」と願う障がいのある方たちと地元企業が待ち望んだフェアは大盛況となりました。昨年に比べ来場者数は100名近く上回る約450名に。合同企業説明会の参加企業は、昨年の18社から24社に拡大しています。

沖縄は2022年度の法定雇用率は全国1位の2.97%。さらに10人未満の企業でも「ゆいまーる(助け合い)」の精神で、



障がい者雇用を実践しているところがたくさんあります。「合同企業説明会」では、そんな企業がホテル業、流通業、清掃業、医療や介護などの自社の業務について、また、どういった環境でどんな仕事に就くことができるかなどを説明しました。なかには、実行委員の呼びかけに応じ、今回初めて参加した企業も。「未経験者でも意欲があれば大歓迎です」と呼びかけています。

「おしごとチャレンジ体験会」は、去年は障がい者施設による模擬体験会でしたが、今年は13社の企業による体験会へとバージョンアップ。参加者は、自動車会社での車体へのボディーコーティング作業、旅行代理店のパソコンを使った入力業務、介護施設での食事介助、動画編集業務など、実際にどんな仕事ができるかを実務に沿ってリアル体験できました。面接に際して自分の強みをどう伝えるかや、ビジネスメイクの指導のブースにもたくさんの参加者が集まりました。

「就職準備なんでも相談会」には、初めての就職や転職に悩む方、また卒業を控え期待と不安に胸を一杯にしている生徒などが来訪。「なかなか採用が決まらない」「障がい者手帳を持っていない」など、日常生活にまつわる悩みも含めて相談していました。

参加者は、これまで漠然としていた業種への理解を深めるとともに、自分に合った職種、チャレンジしたい職種を発見。企業は、深刻化する人手不足解消への手応えを得ています。さらに今年は、ボランティア22名がフェアの運営に参加。各体験ブースで整理券を配布し、順番が来たら呼び出すなどのサポートを行うことで、去年の反省点となった行列のトラブルも解消できました。

このフェアの様子を地元テレビ局が紹介。「より多くの方の注目が集まれば、障がいのある方と企業・仕事のマッチングの機会をもっと広げていけるはず」と、実行委員たちは、今後の活動にますます意欲を燃やしています。



## ゆいジョブ！ サイトの更新

本サイトの運用が進み、掲載情報は一層充実してきました。閲覧される方も増え、当事者・支援者・企業担当者・関連団体などさまざまな立場の方がサイトを参照されています。しかし、情報が混在し必要な情報の入手が困難な状況にも。

そこで、既存サイトの保守運営をお願いしている株式会社メジャーサポートサービスに現コンテンツの項目分類と改修サイト案を提案いただき、定例ミーティングで実行委員が検討することにしました。その結果、まずは専門会社が現行サイトの混在した情報を整理。サイト改修については、実行委員でプロジェクトを立ち上げコンセプトを明確にした設計図をつくり、それに基づいた改修を進めていくことにしました。サイト改修プロジェクトは、次年度も継続して行い、より多くの方が便利に活用できる形へと更新していきます。

(公3) 表彰事業

# ヤマト福祉財団小倉昌男賞の贈呈

障がいのある方の仕事づくり、雇用の拡大、労働条件の改善、高い給料の支給、そしてより多くの障がいのある方に働く喜びと生きがいを提供することで自立支援に貢献された個人を、毎年2名選出・表彰するヤマト福祉財団小倉昌男賞。

受賞者には、正賞 雨宮 淳氏作のブロンズ像、賞状、副賞 賞金100万円をお贈りしています。



## 第24回ヤマト福祉財団 小倉昌男賞贈呈式

2023年12月7日 於：日本工業倶楽部

コロナ禍となりこれまで出席人数を制限してきましたが、第24回目は4年ぶりに歴代受賞者やお二人の関係者約100名をご招待し華やかな贈呈式となりました。

### 飯田大輔さん 社会福祉法人福祉楽団理事長 (千葉県香取市)

#### 美味しさを科学的に実証、株式会社の名前と品質で勝負！

急逝された母親の遺志を継ぎ、まだ大学生だった飯田大輔さんは、2001年に高齢者介護を行う社会福祉法人豊和会（現・福祉楽団）を立ち上げました。慣れない介護の仕事に忙しく走り回る毎日。ところが偶然、障がい者の給料が月1万円という実態を知り、衝撃を受けます。「知ってしまったからには、人任せにできない」と、家業の養豚業で「稼げる仕事」をつくることを決意。オリジナルブランドのハムやソーセージを開発し、早速、その美味しさを百貨店やスーパーに向け営業することに。その際「社会福祉法人の名刺だとその説明をしなければならない。うちは福祉の名前ではなく品質で勝負する」と2012年に株式会社恋する豚研究所（A型事業所）を設立します。さらに、美味しさを科学的に証明できれば説得力は増すと、日本大学の協力でグルタミン酸やオレイン酸など旨味成分の数値を計測。最新の衛生・調理設備も整えアプローチしていくことで、取引先は208社にまで拡大できました。



直営レストランには、年間15万人ものお客様がブランド豚のしゃぶしゃぶ、ハンバーグ、ハムなどを楽しみに訪れます。利用者さんの仕事は、レストランの接客、ハムのラベル貼り、肉の成形、包丁を使った豚肉の下処理など。しかし、屋外で汗を流し働くことが適した人もいます。そこで2018年に栗源第一薪炭供給所（B型事業所）を設立。地域の方が人手不足で困っていた畑作業、山林の伐採や薪づくり、木工の仕事なども始めました。「地域には、我々にできる仕事はまだたくさんあります。利用者さんの希望や得意な力を活かせる多様な仕事をもっと開拓していきたい」と飯田さんは話します。



2022年度の恋する豚研究所の売上は約3.5億円、利用者さんの月額平均給料は8万2,166円、栗源第一薪炭供給所の月額平均給料は2万1,268円です。「一部の利用者さんは月給10万円を超えましたが、平均月額給料だとまだ少ない。利用者さんの仕事へのアセスメントと利益率を上げることが、私のミッション」と話す飯田さんは、さらに障がい者福祉の新たな課題にも目を向けています。それは、犯罪に巻き込まれてしまう障がいのある子どもたちが多いという現実です。「日本の未来を支える子どもたちのために、里親支援も含め具体的な解決計画を立てていきたい。知ってしまったからには、やるしかありませんから」。その笑顔には、強い決意が満ちています。



## ■ 加藤裕二さん 社会福祉法オリーブの樹理事長（千葉県千葉市）

### 儲けることは正しいと、利用者さんの笑顔が教えてくれた

「障がいのある方が自立できるだけの高い給料と生活環境を」。加藤裕二さんは、千葉県の福祉施設の礎を築いて来た方です。スタートは自立支援法が施行される前の1984年、自宅を開放し、4名の利用者さんと小規模作業所オリーブハウス（オリーブの樹の前身）を開設します。加藤さんが障がい者福祉の道に踏み出すきっかけは、大学時代にボランティアで進行性筋ジストロフィー患者さんと出会ったこと。外出のお手伝いや映画会の開催など、患者さんの力になれることに注力しました。その後、オリーブハウスでの巾着袋作りや廃品回収などを始めると、「ここでなら自分たちも働くことができる」と加藤さんのもとに、さまざまな障がいのある方が集まってきました。「もっと多くの人が働ける仕事で、売上を伸ばしていこう」とスタッフみんなで一致団結。現在も売上の柱となる本場アメリカ仕込みのホームメイドクッキーの製造販売を開始しました。このレシピを考案した方を本贈呈式にご招待。「なにかを必要とする人たちがいて、それをみんなで力を合わせて実現するのが福祉の仕事。私は本当に人に恵まれているんです」と加藤さんはスタッフへの感謝の気持ちを込めて、受賞の喜びを述べています。

しかし当時、利用者さんが駅前でクッキーを販売する姿を見た他の方から「金儲けばかり考えている」と非難が集中。「挫けそうになった私を後押ししてくれたのは、`稼ぐことは良いことだ、と主張された小倉さんの言葉です」と加藤さん。やがてオリーブの樹のクッキーは評判になり、利用者さんの給料は約7万円に。さらに多くの利用者さんが集まると、事業所を増設し、アイクリームや弁当の製造販売と新事業を拡大しました。

「仕事に行くのが楽しみと話す利用者さんたちの笑顔を見たら、もっと頑張らなければと思ってしまう」。2007年には千葉県初のA型事業所を開所。グループホームも10ヵ所開設。さらに加藤さんは、千葉県内のA型事業所が力を合わせて活動できる組織作りにも尽力し、全Aネットの副理事長も兼任しています。

ところが2020年、コロナウイルスが蔓延。自粛生活で商品が思うように売れなくなります。そんなとき、若い職員がお取り寄せブームに応える通販体制を整備し、売上を回復しました。「若い世代にバトンタッチすべき年齢になりましたが、まだやりたいことがある。それは、障がいのある児童を守る新しい施設の開設です」。加藤さんの情熱は、いまでも燃え続けています。



## (公4) 広報・啓発等事業

## 全Aネット（就労継続支援A型事業所全国協議会）の報告

全Aネットの設立は2015年。2016年にヤマト福祉財団が「A型事業所の実態調査実施」を助成支援以来、さまざまな角度から活動を支援しています。

一つは「良きA型事業所拡大支援事業」として、2020年4月から3年間で100事業所を目標に優良A型事業所の認定取得にチャレンジする事業所を増やす活動があります。2023年度で53事業所となりました。

また、地方でのよきA型事業所の拡大を目指し、就労支援セミナーを行っています。2023年は全国にも参加を呼びかけた「就労支援セミナー in下関」を実施しました。

## 全Aネット 就労支援セミナー / 就労支援セミナーin下関（ハイブリッド開催）

- 日 時：2023年10月14日
- 会 場：海峡メッセ下関 海峡ホール

### A型のあるべき姿とは？ 地方から未来を考える

山口県下関市で「A型のあるべき姿とは？」と題して、就労支援セミナーが開催されました。来賓として当財団山内理事長が「このセミナーの情報を明日からの活動に役立てて欲しい。アフターコロナで環境も変わっていく中、みなさんも進化進歩されるようお祈りします」と挨拶。

最初のプログラムは、厚生労働省福岡労働局長の小野寺徳子氏が、直近まで厚生労働省の障害者雇用対策課長で、A型に関する制度設計等に関わってきた経験から、「これからのA型に期待する姿」というテーマで、A型の雇用の現状、雇用率の変化、求職の状況、労働時間の柔軟化等々、雇用の立場から講演されました。

次に、朝日雅也氏(埼玉県立大学名誉教授)と(株)インサイト代表取締役の関原深氏により「A型のあるべき姿を語り合う-事業所と社会は利用者の「希望」に込めているのか?」というテーマで記念対談を行いました。利用者の支援ニーズについて行った調査結果を分析しながら、利用者に応えるには経営力と支援力の両輪が必要であることなど、A型の持つ本来の意味や働き方について議論を深めていきました。

続いて「地方でのA型経営」と題し、福岡と山口県の事業所の経営者によるパネルディスカッションを行われ、最後に2023年度の優良A型事業所認定の9事業所が発表されました。



# (NPO) 医療的ケア児者と 家族を社会につなぐネットワークの報告

(NPO) 医療的ケア児者と家族を社会につなぐネットワーク（ブリッジネットワーク）は、「医療的ケアが必要な人々が住み慣れた地域で安心して暮らせる社会をつくること」を基本理念とし、医療的ケア児者の家族、福祉・医療関係者等、多様な分野の有志が集まり2021年8月に設立されました。重度心身障がい者のご家族は、24時間続く自宅でのケアのため、「働きたい」、「自分の時間をもちたい」という思いを断念し、社会からの孤立を深めています。こうした中、ヤマト福祉財団は、医療的ケア児者のご家族の就労に向けた支援や山積する課題を解決するために、小倉昌男賞受賞者である楠元洋子氏を中心に立ち上げたこの活動を支援しています。

## 医療的ケア児者と家族を社会につなぐネットワーク

### 障がい者家族の就労のための支援（資格取得支援）

2023年度は、医療的ケア児者等のご家族で現在就労できていない方を対象とした資格取得支援制度に関する広報活動に注力しました。具体的には、7月30～31日、宇都宮市で開催された全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会総会においてブースを出展し、事業に関する広報活動を実施したほか、10月9日、北九州市で開催された(NPO)にこり主催による「にこりのお祭り」でも、紹介コーナーおよび街頭にて、医療的ケア児者の家族に向けた直接の広報活動を展開しました。

なお、2023年度は2名の申請があり、1名が資格を取得しました。

### ブリッジネットワーク紹介動画の配信

ブリッジネットワークの取り組み内容を広く告知し普及させるため、2022年度より紹介動画を積極的にアップしています。本年度は8本の動画をアップし、再生回数は、のべ18,000回を超えました。



「医療的ケア児も家族もみんなで一緒に楽しむ!にこりのお祭り」(2024年3月30日配信)

# ヤマトグループ ボランティアプロジェクト 活動報告

ヤマト福祉財団では、ヤマト運輸労働組合と連携し、ヤマトグループ社員がそれぞれの地域の障がい者施設とつながり、交流を深めていくボランティアプロジェクトを進めています。障がい者施設が「どこにあるのか、どんなことをしているのか」を知り、より身近にある福祉施設の理解を進めていただくことを目的としています。

今年度の農業編は、ヤマト運輸労働組合の鹿児島支部と郡山支部が、それぞれの地域の福祉施設の農作業を年2回お手伝い。地域福祉活動編は、ヤマト運輸労働組合青年部のみなさんが「ヤマト繋がるプロジェクト<sup>※1</sup>」として大学生や地域団体と協働。3グループに分かれて障がいのある方や子どもたちとの楽しいイベントを企画しました。

※1) このプロジェクトは、大学生とさまざまな団体をつないで街を盛り上げている「NPO法人アクションポート横浜」とのコラボで実現しました。

## 農業編／福祉事業所ほのぼの

- 日時：2023年 6月10日 ジャガイモの収穫  
2023年10月20日 さつまいもの収穫
- 場所：ワーカーズコープ企業組合労協センター事業団  
国分地域福祉事業所ほのぼの(鹿児島県霧島市)

福祉事業所ほのぼのの圃場は、鹿児島空港から車で約1時間の霧島市国分湊にあります。「錦江湾の向こうで雄大な煙を上げる桜島を眺めながらジャガイモを収穫する」予定でしたが、梅雨まっただ中の6月10日は生憎の土砂降りに。

「いつも晴れの日ばかりではありません。雨の日、泥んこになることも楽しんで、良い思い出をみんなで作っていきましょう」と鹿児島支部の赤崎支部執行委員長は、笑顔で参加者に呼びかけました。子どもも含めた鹿児島支部の24名の参加者は、雨にも負けず元気に1.5反のジャガイモ畑で収穫をお手伝い。「いつも慢性的な人手不足で苦勞していますが、みなさんのおかげで残らず収穫することができました。次に行く秋のサツマイモの収穫の時は晴れると良いですね」と担当の久木元さんは感謝の言葉を伝えました。

10月20日のサツマイモの収穫は、みんなの願いがかない見事な秋晴れに。噴煙を上げる桜島もくっきりと見えます。

久木元さんは「畝を広く、高くして水はけを改善。畑に水道施設がないので、利用者さんは水を運んでは水やりをし、草取りも頑張って大きく育てたんです」と説明しました。

鹿児島支部からはご家族を含めた30人が参加。利用者さんと力を合わせ、いつもなら1週間かかる収穫作業を半日で完了しました。丸まると育ったサツマイモは、去年の約3倍の収穫量の約300kgにもなっています。



「青空の下、気持ち良く汗をかいて収穫を楽しむことができました。この交流を鹿児島支部では、今後も定期的を実施していきたいと思います」と赤崎執行委員長が挨拶。組合員のみなさんは、自ら収穫したサツマイモを両手一杯に抱え、満面の笑顔で帰路につきました。



## 農業編／社会福祉法人ころん

- 日時：2023年 6月17日 たまねぎの収穫  
2023年10月28日 たまねぎの定植
- 場所：社会福祉法人ころん (福島県西白河郡)

6月17日、労働組合郡山支部の有志が、新白河駅から車で15分ほどにある社会福祉法人ころんの畑に集合。こちらは鹿児島とはわずか1週間違いですが、梅雨とは思えない真夏のような太陽が照りつける良い天気となりました。

ころんでは、10月に約4万本のたまねぎの苗を定植。那須おろしと呼ばれる季節風に耐えた苗は、春に芽を出し6月が収穫期となります。参加者は、利用者さんとチームを組んで作業を開始すると、わずか1時間半で畑の2/3の約1.5tを収穫。乾燥貯蔵ハウスへの運び込みも無事に完了しました。

収穫後は、餅つき大会が行われ、参加した子どもたちは大喜び。自然栽培のお米のおにぎりなども夢中でほおぼっていました。郡山支部の本郷委員長は「ここまで大規模に農業を行われているとは驚きです。今後も私たちにできることで貢献していきたい」と挨拶しました。なお、今回収穫したたまねぎのうち200kgが郡山支部に送られています。

郡山支部のみなさんは、10月28日にたまねぎの苗の定植で、再びころんの畑を訪れました。

「苗は、マルチの穴に指の第2関節くらいの深さまで押し込んでください。浅いと倒れてしまいます」と職員が説明すると、参加者は利用者さんと一緒に作業を開始。腰を屈めたまま1本1本苗を植えて移動する作業はかなり堪えます。「明日は筋肉痛か」と言いながらもテキパキと作業する姿にプロの農家も感嘆。わずか1時間強で用意した苗をすべて定植し終え、急遽、オクラの収穫後の片付けもお手伝いしました。

本郷委員長は「6月に収穫した無農薬のたまねぎは、本当に美味しかった。ころんと私たちの点は、線で繋がりましたので、次は面へと大きく広げましょう」と話しています。



## 地域福祉活動編／なるこ・DE・ダンス

- 日時：2023年11月8日
- 場所：東戸塚地域活動ホームひかり（横浜市戸塚区）

連携団体：東戸塚地域活動ホームひかり、とつか区民活動センター

今回で3年目となる「ヤマト繋がるプロジェクト」は、ヤマト運輸労働組合青年部のみなさんと大学生のボランティアが力を合わせて、地域交流などのイベントを企画。5月から活動を開始し、3チームに分かれて具体的なアイデア出し・課題抽出・解決案の策定などのアクションを進めていきました。

11月8日に実施したチームは、なるこ（鳴子）を使ったダンス企画です。使用するなるこは、参加者たちがペンやシール、マスキングテープなどを使って思い思いに飾り付け。自分だけの打楽器にしてイベント後も「カタチに残る思い出の品」にしました。

ダンスタイムは、特別に用意したサビメドレーに合わせてなるこを鳴らしながらダンス。サプライズで戸塚区のマスクットキャラ「ウナシー」も登場し、ウナシー体操を一緒に踊りみんなで盛り上がりました。

連携団体のみなさんは「たくさんの学生とヤマトの社員の方が力を合わせて無事に成功できました」とコメント。「予定通りにいかないことばかりでしたが、利用者さんたちの笑顔を見ることができて良かった」と学生たち。青年部のみなさんも「画面越しでも心からダンスを楽しんでいただけていることがわかりました。あの笑顔は忘れられません」と感想を述べています。



## 地域福祉活動編／ハートの花束を作ろう！

- 日時：2023年11月19日
- 場所：カプカプ川和 喫茶  
都筑区子育て支援センターPopola（横浜市都筑区）

連携団体：カプカプ川和、都筑区子育て支援センターPopola

みんなで大きなハートの花束を作る企画を進めたチームは、会場に花の形の型紙を用意。参加者には「つながる」をテーマに、思い出や気持ちを自由にお絵描きしてもらいました。たくさん準備したこの型紙の作成には、他の企画の連携団体のみなさんにもご協力いただいています。

参加者が描き上げた型紙は、大きな透明シートに貼付け、ハート型にくりぬいた額と合わせることで、大きなハートの形の花束が完成します。表はカラフルな花束、裏から見るとみんなのメッセージが見える、そんな素敵な仕掛けにしました。

この花束は、カプカプ川和の喫茶店に特設したフォトスポットで展示。当日参加できなかった方も、後日来店し、施設や地域と繋がるきっかけになるように工夫を凝らしています。

学生たちは「エネルギーにアイデアを出し合うみなさんの姿に良い刺激を受けました」と報告。青年部のみなさんは「夏のカンパ、スワンのケーキの大切さを実感できました」「この経験を職場の仲間にも伝えたい」と話しています。連携団体のみなさんからも「大人、子ども、学生、ヤマトの方たちもみんなが夢中になって制作していました」「終了時間が来てもおしゃべりが止まらない参加者たちの姿を見てうれしくなりました」とコメントをいただきました。



## 地域福祉活動編 / みんなと一緒にすごろくでGO!!

- 日時：2024年1月13日
- 場所：横浜市本牧和田地域ケアプラザ（横浜市中区）

連携団体：横浜市中区地域訓練会チューリップ、横浜市本牧和田地域ケアプラザ

年が明けて行われた最後の企画は、等身大のすごろくゲームです。会場には、人が乗って進める大きなすごろくを用意。参加者たちは、オンラインでつながった運輸労働組合青年部のみなさんともチームを組んで一緒にゴールを目指します。

ゲームは、青年部のスタッフが振ったサイコロの目の数だけ、会場の参加者がマスの上を進む方式です。止まったマスに置かれたカードをひっくり返すと、そこには楽しいミッションが！ミッションを通じて、参加者同士が自然と仲良くなることが企画の狙いです。一体感をより深めるために、みんなで決める「グッドポーズ」も考案。全員でポーズを決めると、オンラインの垣根を越えて笑顔の輪が広がっていきました。

参加した青年部のみなさんは「Zoomでのボランティア参加に不安もありましたが、心から楽しめました」「みなさんの笑顔を見ることができて良かった。次は現地で参加したい」とコメント。学生たちも「子どもたちが同じポーズを取り合うことで、仲良くなるという目標を形にできて良かった」と話しています。連携団体のみなさんも「会場とネット上のヤマトの社員さんがみなさんと和気あいあいと楽しんでいる姿が印象的でした」「ミッションに、荷物の配達があったのは微笑ましかったです」と感想を述べていました。



## ヤマト繋がるプロジェクト報告会

- 日時：2024年2月9日
- 場所：波止場会館（横浜市）

ヤマト運輸労働組合青年部のみなさんと大学生たちがリアル対面し、これまでの活動を振り返りながら、参加した感想やこのプロジェクトの価値などについて意見交換を行いました。企業人・大学生たちが地元福祉団体などとも協同して進める本プロジェクトを行う意義について、神奈川大学の山岡義卓先生より「これかも継続していくことで、ボランティアという枠を超え、いろいろな価値が生まれてくる」と講評いただいています。

報告会の最後には、お互いに感謝の気持ちを込めたプレゼント交換も行い、和気あいあいとした雰囲気。参加者の充実した表情から、今後の展開に期待がもてる報告会となりました。



## (公5) 復興・再生支援事業

## 復興・再生支援事業

## 令和6年能登半島地震

2024年1月1日16時10分頃に、石川県能登地方を震源とする最大震度7を観測する地震が発生しました。被害状況は、死者245名、負傷者1,301名、住宅被害115,751等が報告されています(2024年4月9日現在 消防庁災害対策本部)。

ヤマト福祉財団では、障がい者及び障がい者福祉施設等の被災状況や被災者のニーズを調査し支援を行うきょうされんと、現地事務所を設置し、ボランティアや自治体等と連携した支援活動に取り組む日本障害フォーラムについて助成を行いました(2月15日現在)。

## » きょうされん

助成金額：1,000,000円

きょうされんは、地震発生後、NPO法人難民を助ける会と連携のもと、石川県内の障がい者施設に対し、応急的に食糧・燃料等の支給を実施。今後の支援活動方針を検討することを目的に、1月14日～16日、第一次先遣隊7名が、能登半島の障がい者施設等8か所を訪問し、被害状況の把握やニーズに関する情報収集を行いました。1月31日～2月2日には第二次先遣隊6名が、地震発生後1か月時点における障がい者施設の復旧状況や障がいのある方々からの要望についてヒヤリング等を行い、情報を収集しました。



被災した施設担当者に、食料品などの物資を手渡す

## » 日本障害フォーラム (JDF)

助成金額：5,000,000円

JDFは、行政等では支援の行き届かない障がい者に対する「隙間の支援」を行うため、七尾市を候補地として「被災地障害者支援センター」の設置を計画。JDFを構成する全国13の団体に対し支援ボランティアを要請し、現地派遣のうえ、障がい者一人ひとりの生活に直結した支援活動を展開していきます。また、自治体ならびに地域の障がい者関係団体と連携し、地域の声にも応えていきます。助成金については、東日本大震災や熊本地震での活動実績を踏まえ、ボランティアの現地での移動費用や滞在費用、支援センターの運営費用等に充当していきます。



JDF主催による能登半島地震に関する情報交換会(2024.2.21)

## 2. 2023 年度決算概要



# 貸借対照表

2024年3月31日現在  
(2023年度)

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	59,985,221	73,036,165	-13,050,944
現金	892,991	344,380	548,611
普通預金	59,092,230	72,691,785	-13,599,555
未収金	0	20,400	-20,400
流動資産合計	59,985,221	73,056,565	-13,071,344
2 固定資産			
基本財産			
投資有価証券	6,031,986,500	6,031,986,500	0
基本財産合計	6,031,986,500	6,031,986,500	0
特定資産			
復興・再生支援事業資金	4,000,000	10,000,000	-6,000,000
特定資産合計	4,000,000	10,000,000	-6,000,000
固定資産合計	6,035,986,500	6,041,986,500	-6,000,000
資産合計	6,095,971,721	6,115,043,065	-19,071,344
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	868,173	1,051,410	-183,237
預り金	17,055	47,754	-30,699
流動負債合計	885,228	1,099,164	-213,936
負債合計	885,228	1,099,164	-213,936
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	5,430,400,000	5,430,400,000	0
(うち基本財産への充当額)	( 5,430,400,000)	( 5,430,400,000)	0
(うち特定財産への充当額)	(          0)	(          0)	(          0)
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	664,686,493	683,543,901	-18,857,408
(うち基本財産への充当額)	( 601,586,500)	( 601,586,500)	(          0)
(うち特定財産への充当額)	( 4,000,000)	( 10,000,000)	( -6,000,000)
正味財産合計	6,095,086,493	6,113,943,901	-18,857,408
負債及び正味財産合計	6,095,971,721	6,115,043,065	-19,071,344

# 2023 年度正味財産増減計算書

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	163,507,000	163,507,000	0
基本財産株式配当	163,507,000	163,507,000	0
受取会費	101,874,000	105,115,000	-3,241,000
賛助会費収入	101,874,000	105,115,000	-3,241,000
受取寄付金	71,016,531	76,059,907	-5,043,376
寄付金収入	71,016,531	76,059,907	-5,043,376
経常収益計	336,397,531	344,681,907	-8,284,376
(2) 経常費用			
事業費	334,750,582	336,297,672	-1,547,090
奨学金支給	23,550,000	22,950,000	600,000
助成金支給	128,200,943	136,086,791	-7,885,848
震災支援費	6,000,000	0	6,000,000
会場費	5,086,364	2,628,510	2,457,854
運営費	17,410,973	15,783,718	1,627,255
講師諸費	2,311,068	2,040,113	270,955
ビデオ・パンフ作成費	632,744	504,190	128,554
システム費用	2,641,005	4,077,795	-1,436,790
就労支援費	4,000,000	4,000,000	0
委託費	24,682,680	25,314,321	-631,641
ホームページ運営費	671,535	1,596,134	-924,599
贈呈費	33,569,901	43,095,684	-9,525,783
給料手当	20,693,745	17,177,055	3,516,690
旅費交通費	16,465,566	14,565,874	1,899,692
通信運搬費	30,443,073	31,554,917	-1,111,844
備品消耗品費	259,998	201,245	58,753
図書印刷費	14,870,728	12,201,217	2,669,511
事務室維持費	2,771,822	1,882,984	888,838
会議費	267,517	364,594	-97,077
支払手数料	220,920	272,530	-51,610

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	20,504,357	17,626,128	2,878,229
給料手当	8,745,855	7,408,895	1,336,960
福利厚生費	380,601	326,836	53,765
会議費	362,376	566,304	-203,928
旅費交通費	810,750	803,646	7,104
通信運搬費	2,068,285	1,155,419	912,866
消耗什器備品費	93,694	397,807	-304,113
図書印刷費	4,969,276	4,489,568	479,708
事務室維持費	1,766,172	1,211,724	554,448
事務機器賃借料	906,734	820,018	86,716
賦課金	345,965	280,765	65,200
支払手数料	54,649	27,202	27,447
雑費	0	137,944	-137,944
経常費用計	355,254,939	353,923,800	1,331,139
評価損益等調整前当期経常増減額	-18,857,408	-9,241,893	-9,615,515
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-18,857,408	-9,241,893	-9,615,515
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
前期経費振替	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
有価証券償還差損	0	0	0
什器備品除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-18,857,408	-9,241,893	-9,615,515
一般正味財産期首残高	683,543,901	692,785,794	-9,241,893
一般正味財産期末残高	664,686,493	683,543,901	-18,857,408
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,430,400,000	5,430,400,000	0
指定正味財産期末残高	5,430,400,000	5,430,400,000	0
III 正味財産期末残高	6,095,086,493	6,113,943,901	-18,857,408

# 正味財産増減計算書 内訳表

2023年4月1日～2024年3月31日

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計							法人会計	合計
	公1 助成事業	公2 研修・育成	公3 表彰事業	公4 広報啓発等	公5 震災助成	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	0	0	0	0	0	130,805,600	130,805,600	32,701,400	163,507,000
基本財産株式配当	0	0	0	0	0	130,805,600	130,805,600	32,701,400	163,507,000
受取会費	0	0	0	0	0	81,499,200	81,499,200	20,374,800	101,874,000
賛助会費収入	0	0	0	0	0	81,499,200	81,499,200	20,374,800	101,874,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	56,813,225	56,813,225	14,203,306	71,016,531
寄付金収入	0	0	0	0	0	56,813,225	56,813,225	14,203,306	71,016,531
経常収益計	0	0	0	0	0	269,118,025	269,118,025	67,279,506	336,397,531
(2) 経常費用									
事業費	159,612,963	69,134,535	14,525,634	82,540,687	6,001,100	2,935,663	334,750,582		334,750,582
奨学金支給	23,550,000	0	0	0	0	0	23,550,000		23,550,000
助成金支給	128,200,943	0	0	0	0	0	128,200,943		128,200,943
震災支援費	0	0	0	0	6,000,000	0	6,000,000		6,000,000
会場費	0	3,489,849	1,596,515	0	0	0	5,086,364		5,086,364
運営費	77,000	15,199,008	2,081,048	53,917	0	0	17,410,973		17,410,973
講師諸費	200,466	1,891,273	167,055	52,274	0	0	2,311,068		2,311,068
ビデオ/パンフ作成費	0	0	632,744	0	0	0	632,744		632,744
システム費用	73,251	2,506,154	0	61,600	0	0	2,641,005		2,641,005
就労支援費	0	4,000,000	0	0	0	0	4,000,000		4,000,000
委託費	1,037,300	7,023,080	209,000	16,413,300	0	0	24,682,680		24,682,680
ホームページ運営費	0	0	0	671,535	0	0	671,535		671,535
贈呈費	0	10,785,901	3,000,000	19,784,000	0	0	33,569,901		33,569,901
給料手当	5,401,170	8,901,615	3,919,035	2,471,925	0	0	20,693,745		20,693,745
旅費交通費	109,974	12,734,141	1,083,157	2,443,248	0	95,046	16,465,566		16,465,566
通信運搬費	388,761	2,218,057	379,340	27,419,226	0	37,689	30,443,073		30,443,073
備品消耗品費	9,891	166,727	45,814	11,870	0	25,696	259,998		259,998
図書印刷費	438,900	110,000	1,315,300	13,006,528	0	0	14,870,728		14,870,728
事務室維持費	0	0	0	0	0	2,771,822	2,771,822		2,771,822
会議費	2,887	41,390	90,466	127,364	0	5,410	267,517		267,517
支払手数料	122,420	67,340	6,160	23,900	1,100	0	220,920		220,920
管理費								20,504,357	20,504,357
給料手当								8,745,855	8,745,855
福利厚生費								380,601	380,601
会議費								362,376	362,376
旅費交通費								810,750	810,750
通信運搬費								2,068,285	2,068,285
賦課金								345,965	345,965
消耗什器備品費								93,694	93,694
図書印刷費								4,969,276	4,969,276
事務室維持費								1,766,172	1,766,172
事務機器賃借料								906,734	906,734
支払手数料								54,649	54,649
雑費								0	0
経常費用計	159,612,963	69,134,535	14,525,634	82,540,687	6,001,100	2,935,663	334,750,582	20,504,357	355,254,939

科 目	公益目的事業会計							法人会計	合計
	公1 助成事業	公2 研修・育成	公3 表彰事業	公4 広報啓発等	公5 震災助成	共通	小計		
評価損益等調整前当期経常増減額	-159,612,963	-69,134,535	-14,525,634	-82,540,687	-6,001,100	266,182,362	-65,632,557	46,775,149	-18,857,408
基本財産評価損益等	0						0		0
特定資産評価損益等	0						0		0
投資有価証券評価損益等	0						0		0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	-159,612,963	-69,134,535	-14,525,634	-82,540,687	-6,001,100	266,182,362	-65,632,557	46,775,149	-18,857,408
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
前期経費振替	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
有価証券償還差損	0	0	0	0	0	0	0	0	0
什器備品除却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-159,612,963	-69,134,535	-14,525,634	-82,540,687	-6,001,100	266,182,362	-65,632,557	46,775,149	-18,857,408
一般正味財産期首残高	-623,231,034	-237,661,682	-48,245,627	-301,831,123	-13,219,628	1,643,583,288	419,394,194	264,149,707	683,543,901
一般正味財産期末残高	-782,843,997	-306,796,217	-62,771,261	-384,371,810	-19,220,728	1,909,765,650	353,761,637	310,924,856	664,686,493
II 指定正味財産増減の部									
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	4,344,320,000	4,344,320,000	1,086,080,000	5,430,400,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	4,344,320,000	4,344,320,000	1,086,080,000	5,430,400,000
III 正味財産期末残高	-782,843,997	-306,796,217	-62,771,261	-384,371,810	-19,220,728	6,254,085,650	4,698,081,637	1,397,004,856	6,095,086,493

# 財務諸表に対する注記

## 1. 重要な会計方針

- (1) 計算書類は公益法人会計基準（平成 20 年 4 月 11 日、改正平成 21 年 10 月 16 日 改正平成 30 年 6 月 15 日 内閣府公益認定等委員会）を適用している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産……定率法
- (3) 消費税の会計処理  
税込み方式

## 2. 会計方針の変更 該当なし

## 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券（指定）	5,430,400,000	0	0	5,430,400,000
投資有価証券（一般）	601,586,500	0	0	601,586,500
小 計	6,031,986,500	0	0	6,031,986,500
特定資産				
復興・再生支援事業資金	10,000,000	0	6,000,000	4,000,000
小 計	10,000,000	0	6,000,000	4,000,000
合 計	6,041,986,500	0	6,000,000	6,035,986,500

## 4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。 (単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財) (産からの充当額)	(うち一般正味財) (産からの充当額)	(うち負債に対応) する額
基本財産				
投資有価証券（指定）	5,430,400,000	5,430,400,000	0	0
投資有価証券（一般）	601,586,500	0	601,586,500	0
小 計	6,031,986,500	5,430,400,000	601,586,500	0
特定資産				
復興・再生支援事業資金	4,000,000	0	4,000,000	0
小 計	4,000,000	0	4,000,000	0
合 計	6,035,986,500	5,430,400,000	605,586,500	0

## 5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし 重要性が希薄なため経費処理

## 6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

## 7. 担保に供している資産 該当なし

## 8. 保証債務等の偶発債務 該当なし

## 9. 関連当事者との取引の内容 該当なし

## 10. 重要な後発事象 該当なし

# 財 産 目 録

2024年3月31日 現在  
(2023年度)

(単位：円)

科 目	金 額	使用目的等
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	59,985,221	
現金	892,991	運転資金
普通預金	59,092,230	
みずほ銀行銀座中央支店1	9,092,230	運転資金
みずほ銀行銀座中央支店2	50,000,000	運転資金
流動資産合計	59,985,221	
2 固定資産		
(1) 基本財産		
投資有価証券	3,554,500 株	共有財産であり
ヤマトホールディングス株式会社(株式)		うち80%を公益保有財産として運用益
株数	取得価額	を公益目的事業に使用し、20%を管理
3,200,000 株	5,568,000,000 円	業務のための財産として運用益を法人
354,500 株	776,195,475 円	会計に使用している。
601,586,500		
(2) 特定資産		
復興・再生支援事業資金	4,000,000	(普通預金：みずほ銀行銀座中央支店)
		甚大な災害発生時の助成資金に充当
固定資産合計	6,035,986,500	
資産合計	6,095,971,721	
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	868,173	3月費用等未払分
預り金	17,055	謝礼金に対する源泉所得税
流動負債合計	885,228	
負債合計	885,228	
正味財産	6,095,086,493	

# 附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。
2. 引当金の明細                    該当なし

以 上

2024 年 5 月  
公益財団法人ヤマト福祉財団

# 2023 年度事業報告 附属明細書

2023 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2024 年 5 月  
公益財団法人ヤマト福祉財団

# 2023 年度収支決算書

(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

(単位：円)

科 目	予算額			決算額	差額
	事業費会計	法人会計	総合計		
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
(1) 基本財産運用収入	130,805,600	32,701,400	163,507,000	163,507,000	0
①基本財産株式配当	130,805,600	32,701,400	163,507,000	163,507,000	0
(2) 寄付金収入	60,000,000	15,000,000	75,000,000	71,016,531	3,983,469
①運用財産	60,000,000	15,000,000	75,000,000	71,016,531	3,983,469
(3) 会費収入	82,400,000	20,600,000	103,000,000	101,874,000	1,126,000
①賛助会費収入	82,400,000	20,600,000	103,000,000	101,874,000	1,126,000
事業活動収入計	273,205,600	68,301,400	341,507,000	336,397,531	5,109,469
2. 事業活動支出					
事業費支出	332,000,000	—	332,000,000	334,750,582	-2,750,582
(公1) 助成事業	163,000,000	—	163,000,000	159,612,963	3,387,037
①奨学金支給	24,000,000	—	24,000,000	23,550,000	450,000
②助成金	130,000,000	—	130,000,000	128,200,943	1,799,057
i 給料増額支援助成金	110,000,000	—	110,000,000	109,702,500	297,500
ii 福祉助成金	20,000,000	—	20,000,000	18,498,443	1,501,557
③諸経費	9,000,000	—	9,000,000	7,862,020	1,137,980
(公2) 研修・育成事業	74,000,000	—	74,000,000	69,134,535	4,865,465
①セミナー事業	29,000,000	—	29,000,000	26,220,960	2,779,040
i 会場費	1,000,000	—	1,000,000	674,064	325,936
ii 運営費	9,300,000	—	9,300,000	10,804,650	-1,504,650
iii 諸経費	18,700,000	—	18,700,000	14,742,246	3,957,754
②雇用促進事業	8,000,000	—	8,000,000	8,885,276	-885,276
i システム費	600,000	—	600,000	620,400	-20,400
ii 就労支援費	4,000,000	—	4,000,000	4,000,000	0
iii 諸経費	3,400,000	—	3,400,000	4,264,876	-864,876
③育成プロジェクト	37,000,000	—	37,000,000	34,028,299	2,971,701
i 実践塾	20,000,000	—	20,000,000	17,150,229	2,849,771
ii 自然栽培パーティープロジェクト	10,000,000	—	10,000,000	10,102,065	-102,065
iii ゆいジョブ！プロジェクト	7,000,000	—	7,000,000	6,776,005	223,995
(公3) 表彰事業	13,000,000	—	13,000,000	14,525,634	-1,525,634
①贈呈費	3,000,000	—	3,000,000	3,000,000	0
②会場費	700,000	—	700,000	1,596,515	-896,515
③運営費	2,300,000	—	2,300,000	2,081,048	218,952
④経費	7,000,000	—	7,000,000	7,848,071	-848,071

科 目	予算額			決算額	差額
	事業費会計	法人会計	総合計		
(公4) 広報・啓発等事業	74,000,000	—	74,000,000	82,540,687	-8,540,687
① 広報事業	51,000,000	—	51,000,000	53,684,199	-2,684,199
i ホームページ運営費	1,600,000	—	1,600,000	671,535	928,465
ii 図書印刷費	10,600,000	—	10,600,000	12,961,168	-2,361,168
iii 通信運搬費	26,000,000	—	26,000,000	27,418,019	-1,418,019
iv 委託費	7,900,000	—	7,900,000	9,451,400	-1,551,400
v 諸経費	4,900,000	—	4,900,000	3,182,077	1,717,923
② 啓発事業	1,000,000	—	1,000,000	95,730	904,270
i 諸経費	1,000,000	—	1,000,000	95,730	904,270
③ その他事業	22,000,000	—	22,000,000	28,760,758	-6,760,758
i 他団体等の事業支援	7,000,000	—	7,000,000	7,262,393	-262,393
ii 医療的ケア児者プロジェクト	7,000,000	—	7,000,000	7,138,970	-138,970
iii ボランティアプロジェクト	4,000,000	—	4,000,000	3,378,436	621,564
iv その他(予備費)	4,000,000	—	4,000,000	10,980,959	-6,980,959
(公5) 復興・再生支援事業	5,000,000	—	5,000,000	6,001,100	-1,001,100
① 震災支援費	4,900,000	—	4,900,000	6,000,000	-1,100,000
② 諸経費	100,000	—	100,000	1,100	98,900
共通	3,000,000	—	3,000,000	2,935,663	64,337
① 諸経費	3,000,000	—	3,000,000	2,935,663	64,337
管理費支出	—	20,000,000	20,000,000	20,504,357	-504,357
① 人件費	—	8,500,000	8,500,000	8,745,855	-245,855
② 福利厚生費	—	400,000	400,000	380,601	19,399
③ 旅費	—	800,000	800,000	810,750	-10,750
④ 通信運搬費	—	1,300,000	1,300,000	2,068,285	-768,285
⑤ 備品消耗品費	—	400,000	400,000	93,694	306,306
⑥ 図書印刷費	—	5,300,000	5,300,000	4,969,276	330,724
⑦ 事務室維持費	—	1,600,000	1,600,000	1,766,172	-166,172
⑧ 事務機器賃借料	—	800,000	800,000	906,734	-106,734
⑨ 会議費	—	600,000	600,000	362,376	237,624
⑩ 賦課金	—	300,000	300,000	345,965	-45,965
⑪ 支払手数料	—	0	0	54,649	-54,649
事業活動支出計	332,000,000	20,000,000	352,000,000	355,254,939	-3,254,939
I 事業活動収支の部	-58,794,400	48,301,400	-10,493,000	-18,857,408	8,364,408
II 投資活動収支の部					
III 財務活動収支の部					
IV 予備費支出					
当期収支差額	-58,794,400	48,301,400	-10,493,000	-18,857,408	8,364,408

# 監査報告書

公益財団法人ヤマト福祉財団

理事長 山内 雅喜 殿

2024年5月27日

公益財団法人ヤマト福祉財団

監事 新里 智弘

監事 小川 晃男

私たち監事は、2023年4月1日から2024年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次の通り報告致します。

## 1 監査の方法及びその内容

理事及び職員と意思の疎通を図り、情報の収集に努めるとともに、理事会その他の重要な会議に出席し、理事及び職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2 監査意見

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

### 3. 補 足



# 寄付金寄贈者名簿

(敬称略：順不同)

寄付者名	寄付者名
西 野 忍	大 川 清 一

夏のカンパ

寄 付 者 名
ヤマトグループ企業労働組合連合会

# 賛助会員数一覧

2024年3月31日現在

会社名	会員数	会社名	会員数
ヤマトホールディングス株式会社	19	ヤマトオートワークス北信越株式会社	9
ヤマト運輸株式会社	64,347	ヤマトオートワークス岩手株式会社	25
沖縄ヤマト運輸株式会社	471	ヤマトオートワークス沖縄株式会社	2
ヤマトダイアログ&メディア株式会社	9	ボックスチャーター株式会社	15
ヤマトコンタクトサービス株式会社	344	ヤマトボックスチャーター株式会社	1,041
ヤマト・スタッフ・サプライ株式会社	490	ヤマトマルチチャーター株式会社	317
湖南工業株式会社	324	神戸ヤマト運輸株式会社	34
ヤマトホームコンビニエンス株式会社	721	株式会社スワン	6
ヤマトシステム開発株式会社	832	ヤマトグループ健康保険組合	17
ヤマトリース株式会社	66	社会福祉法人ヤマト自立センター	16
ヤマトクレジットファイナンス株式会社	89	ヤマト運輸労働組合	46
ヤマトオートワークス株式会社	1,401	合 計	70,641

# 役員名簿

## 理事

2024年4月1日現在

NO	役職名	氏名	役職
1	理事長	山内 雅喜	ヤマトホールディングス株式会社 参与
2	理事	蒲原 基道	日本社会事業大学専門職大学院客員教授、元厚生労働事務次官
3	同	町田 武	元三郷市教育委員会 教育委員長
4	同	西堀 利	株式会社みずほフィナンシャルグループ 特別顧問
5	同	藤掛 稔子	
6	同	上野 容子	東京家政大学 名誉教授
7	同	森下 明利	ヤマトグループ企業労働組合連合会 会長
8	同	柴崎 憲二	元ヤマト運輸株式会社 監査役
9	同	井上 貴博	ヤマト福祉財団 常務理事

## 監事

NO	役職名	氏名	役職
1	監事	新里 智弘	公認会計士
2	同	小川 悦男	元ヤマトホールディングス株式会社 監査役

## 評議員

2024年4月1日現在

NO	役職名	氏名	役職
1	評議員	今野 由梨	ダイヤル・サービス株式会社 代表取締役社長
2	同	藤井 克徳	きょうされん 専務理事
3	同	吉井 毅	元新日本製鉄（現日本製鉄）株式会社 代表取締役副社長
4	同	上林 孝典	元伊藤忠商事取締役副社長
5	同	朝日 雅也	埼玉県立大学名誉教授
6	同	小野崎貴志	ヤマト運輸労働組合 副中央執行委員長
7	同	玉川 雅浩	元ヤマトシステム開発株式会社 代表取締役常務執行役員
8	同	森 日出男	ヤマト運輸株式会社 顧問
9	同	小菅 泰治	ヤマトホールディングス株式会社 取締役

福祉助成金選考委員

2024年4月1日現在

NO	役職名	氏名	役職
1	選考委員	朝日 雅也	埼玉県立大学名誉教授
2	同	小野崎貴志	ヤマト運輸労働組合 副中央執行委員長
3	同	森 日出男	ヤマト運輸株式会社 顧問
4	同	石井 雅之	ヤマト運輸株式会社 常務執行役員
5	同	山内 雅喜	ヤマトホールディングス株式会社 参与

ヤマト福祉財団小倉昌男賞選考委員

2024年4月1日現在

NO	役職名	氏名	役職
1	選考委員	藤井 克徳	きょうされん 専務理事
2	同	蒲原 基道	日本社会事業大学専門職大学院客員教授、元厚生労働事務次官
3	同	今野 由梨	ダイヤル・サービス（株） 代表取締役社長
4	同	森下 明利	ヤマトグループ企業労働組合連合会 会長
5	同	山内 雅喜	ヤマトホールディングス株式会社 参与



## **4. 2024 年度事業計画書**

### **同 収支予算書**

### **資金調達及び設備投資の見込みについて**



# 2024年度 事業計画書

(自・2024年4月1日～至・2025年3月31日)

## はじめに

新型コロナウイルスによる混乱も一旦収束し、ヤマト福祉財団小倉昌男賞贈呈式では対面型の開催を再開するなど、各種活動においてコロナ禍以前の活気を取り戻してきました。一方、2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震による被害は大きく、復旧には長期間を要することが見込まれています。2024年度は、パワーアップフォーラムを東京、大阪で開催するほか、福祉事業所の販売促進に関する勉強会の開催や新メンバーを加えての農福連携実践塾の展開など、心身に障がいのある多くの方々の自立や社会参加の実現に向けて、積極的に事業を展開してまいります。なお、19年間に亘り継続してきた『障がいのクロネコDM 便配達事業』は、2023年度で終了します。

## (公1) 助成事業 (161,000千円)

### ① 奨学金 (24,000千円)

40名の障がいのある大学生に対して奨学金を給付します。

### ② 助成金 (130,000千円)

#### i. 給料増額支援助成金 (110,000千円)

障がいの者の給料増額につながる設備・備品購入として、障がいの者施設を対象に助成します。

#### ii. 障がいの者福祉助成金 (20,000千円)

障がいの者の福祉に資する活動(講演会・研修・文化・スポーツ等)について、障がいの者団体並びにボランティア団体を対象に助成します。

### ③ 諸経費 (7,000千円)

## (公2) 研修・育成事業 (57,000千円)

### ① セミナー事業 (23,000千円)

障がいの者の働く場でさまざまな実績を上げた方々を招いて、障がいのある人の仕事や暮らしについて参加者もいっしょに考えを深めていく「障がいの者の働く場パワーアップフォーラム」を東京会場、大阪会場の2か所で開催します。

### ② 雇用促進事業 (5,000千円)

ヤマト自立センターの活動を全般的にサポートし、障がいの者就労の拡大を図ります。

### ③ 育成プロジェクト (29,000千円)

#### i. 実践塾 (12,000千円)

農福連携実践塾では、ぶどう、たまねぎを対象を絞った実践塾を継続します。また、障がいの者施設で販売している商品の販路拡大のロールモデルを立ち上げるための研究会活動を継続し、研究会として検討・検証を実施します。

#### ii. 「自然栽培パーティ」プロジェクト (10,000千円)

休耕田・耕作放棄地を利用した無農薬・無肥料による自然栽培を推進する「自然栽培パーティ」の活動を、

引き続き支援していきます。

iii. ゆいジョブ！プロジェクト（7,000千円）

沖縄県内の地元メンバーで構成するゆいジョブ！実行委員が中心となり企画・運営している福祉事業所と一般企業をつなぐビジネスマッチング活動を、引き続き支援していきます。本年度はホームページのリニューアルを行い、福祉事業所と一般企業の双方の利便性を高めることで、マッチング機会の拡大を目指します。

**（公3）表彰事業（14,800千円）**

**① ヤマト福祉財団小倉昌男賞の贈呈（14,800千円）**

ヤマト福祉財団では、障がい者の仕事づくりや雇用の創出、拡大、労働条件の改善などを積極的に推し進め、障がい者に働く喜びと生きがいをもたらしている個人を対象に、本年も「ヤマト福祉財団小倉昌男賞」を贈呈します。

**（公4）広報・啓発等事業（88,700千円）**

**① 広報事業（65,700千円）**

財団 News を発行し、賛助会員を中心としたヤマトグループ社員や関係企業、団体に広く報告しています。加えてホームページ等で広く広報、啓発活動を行います。

**② 啓発事業（300千円）**

障がい者団体の主催する大会の共催・後援等によって、障がい者の能力の浸透啓発を図ります。

**③ その他事業（22,700千円）**

i. 他団体等への活動支援（7,000千円）

イ) 全A ネットによる良質なA型事業所認定事業（6,000千円）

2020年度より始動したA型事業所認定制度により、2023年度までに53事業所を認定しました。引き続き、良質なA型事業所の増加に向けて、本制度の審査活動を支援します。また、本団体主催による、良きA型事業所の運営や経営に直接役立つ内容のセミナー開催を支援します。

ロ) 日本障害フォーラムによる「障害者の権利条約」に関する事業（1,000千円）

「障害者の権利条約」について国連障害者権利委員会に提出するNGOパラレルレポートの準備活動と国内啓発活動に対し、公益財団法人助成財団センターを窓口として、他の福祉系財団とともに共同助成を行いサポートします。

ii. 医療ケア児者と家族を支える団体の活動支援（7,000千円）

医療的ケア児者本人とその家族の医療、教育、福祉の各場面を支える団体「特定非営利活動法人 医療的ケア児者と家族を社会につなぐネットワーク」の活動支援を行います。

iii. ボランティアプロジェクト（4,000千円）

ヤマトグループの社会貢献活動の一つとして、労働組合による協力のもと、グループ社員と福祉事業所の利用者、職員等との交流の場を提供することで地域連携を深める活動を行います。

iv. その他（4,700千円）

応援団体協賛金等の予備費として計上します。

**(公5) 復興・再生支援事業 (5,000千円)**

**① 復興・再生支援事業**

大規模災害等で被災した障がい者就労施設の再生支援のための資金枠を確保します。

以 上

# 2024 年度収支予算書

(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

(単位：千円)

科 目	事業費会計	法人会計	総合計	前年計画
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入	130,806	32,701	163,507	163,507
①基本財産株式配当	130,806	32,701	163,507	163,507
(2) 寄付金収入	56,800	14,200	71,000	75,000
①運用財産	56,800	14,200	71,000	75,000
(3) 賛助会費収入	85,600	21,400	107,000	103,000
①賛助会費収入	85,600	21,400	107,000	103,000
事業活動収入計	273,206	68,301	341,507	341,507
2. 事業活動支出				
事業費支出	329,500	—	329,500	332,000
(公1) 助成事業	161,000	—	161,000	163,000
①奨学金支給	24,000	—	24,000	24,000
②助成金	130,000	—	130,000	130,000
i 給料増額支援助成金	110,000	—	110,000	110,000
ii 福祉助成金	20,000	—	20,000	20,000
③諸経費	7,000	—	7,000	9,000
(公2) 研修・育成事業	57,000	—	57,000	74,000
①セミナー事業	23,000	—	23,000	29,000
②雇用促進事業	5,000	—	5,000	8,000
③育成プロジェクト	29,000	—	29,000	37,000
i 塾	12,000	—	12,000	20,000
ii 自然栽培パーティプロジェクト	10,000	—	10,000	10,000
iii ゆいジョブ！プロジェクト	7,000	—	7,000	7,000
(公3) 表彰事業	14,800	—	14,800	13,000
(公4) 広報・啓発等事業	88,700	—	88,700	74,000
①広報事業	65,700	—	65,700	51,000
②啓発事業	300	—	300	1,000
③その他事業	22,700	—	22,700	22,000
i 他団体等への活動支援	7,000	—	7,000	7,000
全 A ネット	6,000	—	6,000	6,000
日本障害フォーラム	1,000	—	1,000	1,000
ii 医療的ケア児者PJ	7,000	—	7,000	7,000
iii ボランティアPJ	4,000	—	4,000	4,000
iv その他	4,700	—	4,700	4,000
応援団体協賛金	4,700	—	4,700	3,000
農園型雇用	0	—	0	1,000
(公5) 復興・再生支援事業	5,000	—	5,000	5,000
共通	3,000	—	3,000	3,000

(単位：千円)

科 目	事業費会計	法人会計	総合計	前年計画
管理費支出	-	20,000	20,000	20,000
事業活動支出計	329,500	20,000	349,500	352,000
I 事業活動収支の部	-56,294	48,301	-7,993	-10,493
II 投資活動収支の部	0	0	0	0
III 財務活動収支の部	0	0	0	0
IV 予備費支出	0	0	0	0
計画収支差額	-56,294	48,301	-7,993	-10,493

# 資金調達及び設備投資の見込みについて

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定はありません。

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定はありません。

以上